

Veritas NetBackup™ Appliance トラブルシューティ ングガイド

リリース 3.1 および 3.1.1

VERITAS™

Veritas NetBackup™ Appliance トラブルシューティングガイド

法的通知と登録商標

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、NetBackup は Veritas Technologies LLC または同社の米国とその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、サードパーティの所有物であることを示す必要があるサードパーティソフトウェア（「サードパーティプログラム」）が含まれている場合があります。一部のサードパーティプログラムは、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスに基づいて提供されています。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。このベリタス製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所で入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

本書は、現状のまま提供され、その商品性、特定目的への適合性、または不侵害の暗黙的な保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証はすべて免責されるものとします。ただし、これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。Veritas Technologies LLC は、本書の提供、内容の実施、また本書の利用によって偶発的あるいは必然的に生じる損害については責任を負わないものとします。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商業用コンピュータソフトウェアとみなされ、場合に応じて、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202 以下の「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となり、Veritas による納品が内部設置型またはホスト型のサービスのいずれであるかは問いません。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC
500 E Middlefield Road
Mountain View, CA 94043

<http://www.veritas.com>

テクニカルサポート

テクニカルサポートは世界中にサポートセンターを設けています。すべてのサポートサービスは、お客様のサポート契約およびその時点でのエンタープライズテクニカルサポートポリシーに従って提供されます。サポートサービスとテクニカルサポートへの問い合わせ方法については、次の弊社の Web サイトにアクセスしてください。

https://www.veritas.com/support/ja_JP.html

次の URL でベリタスアカウントの情報を管理できます。

<https://my.veritas.com>

既存のサポート契約に関する質問については、次に示す地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

世界共通 (日本を除く)

CustomerCare@veritas.com

日本

CustomerCare_Japan@veritas.com

マニュアル

最新のマニュアルは、次のベリタス Web サイトで入手できます。

<https://sort.veritas.com/documents>

マニュアルに対するご意見

お客様のご意見は弊社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの誤謬脱漏などの報告をお願いします。その際には、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。ご意見は次のアドレスに送信してください。

APPL.docs@veritas.com

次のベリタスコミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問することもできます。

<http://www.veritas.com/community/ja>

ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) の表示

ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) は、時間がかかる管理タスクを自動化および簡素化するための情報とツールを提供する Web サイトです。製品によって異なりますが、SORT はインストールとアップグレードの準備、データセンターにおけるリスクの識別、および運用効率の向上を支援します。SORT がお客様の製品に提供できるサービスとツールについては、次のデータシートを参照してください。

https://sort.veritas.com/data/support/SORT_Data_Sheet.pdf

目次

第 1 章	トラブルシューティングガイドの使用について	5
	このマニュアルについて	5
	対象読者について	5
第 2 章	一般的なトラブルシューティング手順	6
	NetBackup Appliance のトラブルシューティングについて	6
	NetBackup Appliance のディザスタリカバリについて	9
	テクニカルサポートへの問い合わせについて	10
	NetBackup Appliance のシリアル番号の確認	11
	パスワード管理およびリカバリについて	15
第 3 章	トラブルシューティングツールについて	17
	NetBackup Appliance のトラブルシューティングのツール	17
	ハードウェア監視について	18
	NetBackup サポートユーティリティについて	18
	NBDNA (NetBackup Domain Network Analyzer)	18
	NetBackup サポートユーティリティ (NBSU)	20
第 4 章	ログファイルの使用	21
	NetBackup Appliance のログファイルについて	21
	Support コマンドの使用によるログファイルの表示	23
	Browse コマンドを使用した NetBackup Appliance ログファイルの参照場 所	24
	DataCollect コマンドを使ったデバイスログの収集	25
	NetBackup-Java アプリケーションの情報収集について	26
	VxMS ログの有効化および無効化	28
第 5 章	NetBackup Appliance のエラーメッセージ	30
	NetBackup Appliance のエラーメッセージについて	30
	初期構成時に表示されるエラーメッセージ	31
	NetBackup Appliance Web Consoleに表示されるエラーメッセージ	32
	NetBackup Appliance Shell Menuに表示されるエラーメッセージ	51
	NetBackup Appliance に適用可能な NetBackup の状態コード	60

トラブルシューティングガイドの使用について

この章では以下の項目について説明しています。

- [このマニュアルについて](#)
- [対象読者について](#)

このマニュアルについて

このガイドは、トラブルシューティングする方法の概要を示します **NetBackup Appliance** ソフトウェアとハードウェアの問題。一般的なトラブルシューティング手順を実行する必要があります問題が発生した場合のリストと、アプライアンスのトラブルシューティング ツールとログファイルの説明が含まれています。

特定の問題に関する具体的なトラブルシューティング情報については、ベリタスサポート Web サイトの [アプライアンスのページ](#) を参照してください。検索機能を使用して、特定の問題に関連する技術情報を検索できます。

対象読者について

このガイドは、**NetBackup Appliance** の保守管理業務に従事しているシステム管理者や IT 技術者を含むエンドユーザーを対象としています。

一般的なトラブルシューティング手順

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Appliance のトラブルシューティングについて](#)
- [NetBackup Appliance のディザスタリカバリについて](#)
- [テクニカルサポートへの問い合わせについて](#)
- [NetBackup Appliance のシリアル番号の確認](#)
- [パスワード管理およびリカバリについて](#)

NetBackup Appliance のトラブルシューティングについて

NetBackup Appliance で問題が発生した場合、問題を解決するためのガイドとして次の手順を使用してください。手順では、さらに詳しいトラブルシューティング情報のリンクを示します。特定の問題に関するトラブルシューティング情報については、テクニカルサポート Web サイトの[アプライアンスのページ](#)でも調べることができます。検索機能を使用して、特定の問題に関連する技術情報を探します。

お客様自身で問題を解決できない場合は、問題を明確にしてサポート情報を収集できることが重要です。このような状況になった場合は、テクニカルサポートに問い合わせてください。テクニカルサポート担当者は問題を診断し、満足のいく解決を得るために協力します。

表 2-1 NetBackup Appliance の問題をトラブルシューティングする手順

手順	処理	説明
手順 1	エラーメッセージの確認	<p>アプライアンスで適切に行われなかった処理を確認するため、次のオプションを使用することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 通常、エラーメッセージは、適切に行われなかった処理を示しています。アプライアンスエラーメッセージのドキュメントを参照して推奨処置を確認します。 p.31 の「初期構成時に表示されるエラーメッセージ」を参照してください。 p.32 の「NetBackup Appliance Web Consoleに表示されるエラーメッセージ」を参照してください。 p.51 の「NetBackup Appliance Shell Menuに表示されるエラーメッセージ」を参照してください。 ■ インターフェースにエラーメッセージが表示されていなくても問題が発生している可能性がある場合、次を行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ NetBackup Appliance Web Consoleの[監視 (Monitor)]>[ハードウェア (Hardware)]タブを使用して、ハードウェア、ストレージデバイス、それらに関連付けられているすべてのコンポーネントを監視できます。 ■ Support > Test コマンドを使用して、NetBackup Appliance Shell Menuからのハードウェアセルフテストを実行します。ハードウェアセルフテストが完了すると、アプライアンスの問題を的確に識別するのに役立つ詳細なハードウェア監視レポートが NetBackup Appliance シェルメニューに表示されます。 ■ NetBackup Appliance レポートとログを確認します。ログは、適切に行われなかった処理と、問題が発生したときに進行中だった操作を示します。 p.21 の「NetBackup Appliance のログファイルについて」を参照してください。 ■ アプライアンスハードウェアに簡単にアクセスできる場合は、LED を使用して問題を識別できます。LED の場所とその解釈について詳しくは、『NetBackup アプライアンスハードウェアの取り付けガイド』を参照してください。

手順	処理	説明
手順 2	問題発生時に実行していた操作の確認	<p>次について質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 試行された操作 ■ 使った方法 たとえば、クライアントにソフトウェアをインストールするには複数の方法があります。また、多くの操作において使用可能なインターフェースは複数存在します。操作によっては、スクリプトを使って実行することもできます。 ■ 使っていたサーバープラットフォームとオペレーティングシステムの種類 ■ マスターサーバーとメディアサーバーのどちらかで問題が発生したか (サイトでマスターサーバーとメディアサーバーの両方が使われている場合) ■ クライアントの種類 (クライアントが関連する場合) ■ 過去にその操作が正常に実行されたことがあるかどうか。正常に実行されたことがある場合、現在の相違点 ■ ソフトウェアバージョンレベル ■ 最新の修正プログラムが適用されているオペレーティングシステムソフトウェアを使っているか ■ デバイスのファームウェアのレベル。掲載されているデバイス互換性リストに従ってテストされたレベル以上かどうか
手順 3	すべての情報の記録	<p>重要になる可能性がある情報を入手します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 進捗ログ ■ レポート ■ ユーティリティレポート ■ デバッグログ ■ システムログとイベントビューアアプリケーションでのエラーメッセージまたは状態メッセージの確認 (Windows コンピュータの場合) メモ: イベントビューアを起動するには、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]>[管理ツール]>[イベントビューア]をクリックします。 ■ ダイアログボックス内のエラーメッセージまたは状態メッセージ <p>p.21 の「NetBackup Appliance のログファイルについて」を参照してください。</p>

手順	処理	説明
手順 4	問題の修正	<p>NetBackup Appliance の問題だと考えられる場合は、テクニカルサポート Web サイトの アプライアンスのページ でその他のトラブルシューティング情報を入手できます。ページ上部の検索バーを使用して、特定の問題に関連する記事を探します。</p> <p>NetBackup の問題として問題を定義する場合、次の情報を使って問題を修正できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 状態コードまたはメッセージによって推奨される訂正処理を適用します。 p.60 の「NetBackup Appliance に適用可能な NetBackup の状態コード」を参照してください。 詳しくは、『NetBackup 状態コードリファレンスガイド』を参照してください。 ■ 状態コードまたはメッセージが存在しないか、または状態コードの処理で問題が解決しない場合は、追加のトラブルシューティング手順を使って一般的な問題を特定します。 p.18 の「NetBackup サポートユーティリティについて」を参照してください。 NetBackup 固有の追加情報については、『NetBackup トラブルシューティングガイド』を参照してください。
手順 5	テクニカルサポートの問題レポートへの入力	<p>問題の解決に役立つログを識別できる場合、適切なログを収集してください。問題の解決に必要なログを特定できない場合は、テクニカルサポートに連絡して収集するログについてアドバイスを受けてください。トラブルシューティングに失敗した場合は、テクニカルサポートに連絡するための問題レポートを準備します。</p> <p>p.10 の「テクニカルサポートへの問い合わせについて」を参照してください。</p> <p>p.21 の「NetBackup Appliance のログファイルについて」を参照してください。</p>
手順 6	テクニカルサポートへの連絡	<p>Veritas テクニカルサポート Web サイトでは、NetBackup Appliance の問題の解決に役立つ豊富な情報を参照できます。</p> <p>次の URL でテクニカルサポートにアクセスします。</p> <p>www.veritas.com/support</p> <p>p.10 の「テクニカルサポートへの問い合わせについて」を参照してください。</p>

p.28 の「[VxMS ログの有効化および無効化](#)」を参照してください。

NetBackup Appliance のディザスタリカバリについて

ディザスタリカバリの状況では、障害の原因を特定し、可能なかぎり多くのデータをアプライアンスからリカバリすることが重要です。したがって、アプライアンスのリカバリを試みる前に、テクニカルサポートに問い合わせてください。

アプライアンスに関して構成した環境は達成できるリカバリのレベルにおいて重要な役割を担います。スタンドアロンプライマリ (マスターサーバー) アプライアンスから成る環境で

は、リカバリソリューションはわずかしかありません。アプライアンスがダウンするほど重大なエラーは、システムのデータをリカバリできないことを意味する可能性があります。Veritasのサポートエンジニアはアプライアンスをリカバリできるかどうか判断するために協力します。アプライアンスがリカバリできない場合には、アプライアンスの再構築を提案することがあります。そのオプションが実行可能でない場合、アプライアンスを完全に交換する必要があることもあります。

次の災害シナリオは、災害後にアプライアンスを実行するための指針として提供します。

ハードウェア関連のシナリオ:

- 持続するアプライアンスの電源の中断
- アプライアンス ハードウェアの障害
- リカバリ可能なオペレーティングシステムドライブとストレージディスクが接続されているアプライアンスの完全な消失
- リカバリ可能なストレージディスクが接続されているアプライアンスの完全な消失
- アプライアンスおよび接続されたストレージのディスクの完全な消失

ソフトウェア関連のシナリオ:

- アプライアンス ソフトウェアの破損
- アプライアンスのデータベースの破損
- アプライアンスのカタログの破損
- アプライアンスのオペレーティングシステム破損

テクニカルサポートへの問い合わせについて

テクニカルサポート Web サイトには、NetBackup Appliance の問題の解決に役立つ豊富な情報があります。次の URL でテクニカルサポートにアクセスできます。

www.veritas.com/support

サポートへ問題を報告するとき、次の情報を用意してください。

- 適宜、アプライアンス、ストレージデバイス、およびスイッチのシリアル番号を特定してメモしておきます。
p.11 の「[NetBackup Appliance のシリアル番号の確認](#)」を参照してください。
- アプライアンスエラーメッセージのドキュメントを参照して推奨処置を確認します。
p.31 の「[初期構成時に表示されるエラーメッセージ](#)」を参照してください。
p.32 の「[NetBackup Appliance Web Consoleに表示されるエラーメッセージ](#)」を参照してください。
p.51 の「[NetBackup Appliance Shell Menuに表示されるエラーメッセージ](#)」を参照してください。

p.60 の「[NetBackup Appliance に適用可能な NetBackup の状態コード](#)」を参照してください。

- Datacollect コマンドを使ってデバイスログを収集します。
 p.25 の「[DataCollect コマンドを使ったデバイスログの収集](#)」を参照してください。
- コールホームが有効になっていて、提供されるプロキシ設定が正しいことを確認します。NetBackup Appliance Web Consoleから[設定 (Settings)]>[通知 (Notification)]>[アラートの構成 (Alert configuration)]を使ってコールホームの設定を適用します。

NetBackup Appliance のシリアル番号の確認

問題をベリタスのテクニカルサポートに報告する場合は、NetBackup Appliance のシリアル番号を確認して参照する必要があります。

以下のオプションを使用して、NetBackup Appliance のシリアル番号とストレージシェルフのシャーシ番号を確認できます。

表 2-2 NetBackup Appliance システムのシリアル番号とシャーシ番号を確認する場合のオプション

このオプションの使用場所	参照先
NetBackup Appliance Web Console	「Web コンソールを使った NetBackup Appliance のシリアル番号の確認」
NetBackup Appliance Shell Menu	「シェルメニューを使った NetBackup Appliance のシリアル番号の確認 」
	「シェルメニューを使った NetBackup 53xx プライマリストレージシェルフのシリアル番号またはシャーシ番号の確認 」
	「シェルメニューを使った NetBackup 53xx 拡張ストレージシェルフのシリアル番号またはシャーシ番号の確認 」
アプライアンスハードウェア	特定のアプライアンスについては、『製品説明ガイド』や『ハードウェア取り付けガイド』を参照してください。アプライアンスハードウェアのマニュアルは、サポート Web サイトの マニュアルページ で入手できます。

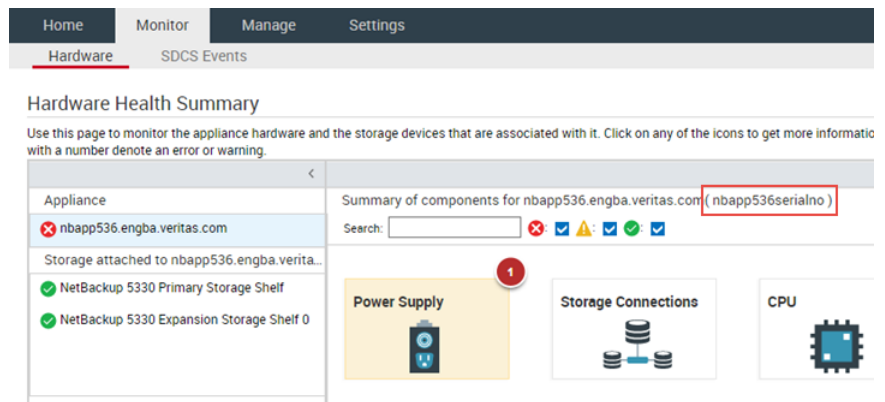
Web コンソールを使った NetBackup Appliance のシリアル番号の確認

次の手順で、NetBackup Appliance Web Consoleを使って NetBackup Appliance のシリアル番号を確認します。

NetBackup Appliance Web Consoleを使って **NetBackup Appliance** シリアル番号を確認するには、次の操作をします。

- 1 ユーザーのクレデンシャルを使って NetBackup Appliance Web Consoleにログオンします。
- 2 [監視 (Monitor)]>[ハードウェア (Hardware)]を選択します。
[ハードウェア健全性の概略 (Hardware Health Summary)]ページが表示されます。
- 3 左ペインでアプライアンス名をクリックします。

シリアル番号は、NetBackup Appliance Web Consoleのアプライアンス名またはサーバー名の右側に並んで表示されます。



メモ: NetBackup 5330 Appliance で、左ペインのストレージシェルフ名をクリックしても、接続している各ストレージシェルフのシリアル番号を確認できます。

Veritas 5U84 (NetBackup 5340) ストレージシェルフのシリアル番号または NetBackup 5330 ストレージシェルフのシャーシ番号を確認するには、NetBackup Appliance Shell Menuを使用します。

「シェルメニューを使った NetBackup 53xx プライマリストレージシェルフのシリアル番号またはシャーシ番号の確認」を参照してください。

「シェルメニューを使った NetBackup 53xx 拡張ストレージシェルフのシリアル番号またはシャーシ番号の確認」を参照してください。

詳しくは、『NetBackup Appliance 管理者ガイド』を参照してください。

シェルメニューを使った NetBackup Appliance のシリアル番号の確認

以下の手順で、NetBackup Appliance シェルメニューを使って NetBackup Appliance または NetBackup 53xx サーバーのシリアル番号を確認します。

シェルメニューを使って NetBackup Appliance または NetBackup 53xx サーバーのシリアル番号を確認するには

- 1 ログインクレデンシャルを使って NetBackup Appliance の管理シェルメニューにログオンします。
- 2 Main_Menu> コマンドプロンプトで Monitor と入力して Enter キーを押します。
コマンドプロンプトが Monitor> に変更されます。
- 3 次のコマンド Hardware ShowHealth Appliance Product を入力して Enter キーを押します。

たとえば、Monitor> Hardware ShowHealth Appliance Product と入力します。

アプライアンスのシリアル番号が、次の例のように表示されます。

```
abc123.Monitor > Hardware ShowHealth Appliance Product
```

```
Gathering hardware information. It might take about a minute...
```

```
Compute Node abc123.engba.symantec.com
```

```
Time Monitoring Ran: Thu Mar 21 2013 04:47:09 PDT
```

```
Node does not have any errors.
```

Hardware monitor information		
Name	Manufacturer	Serial
NetBackup 5330	Symantec	abc123serno

拡張ストレージシェルフのシリアル番号またはシャーシ番号を確認するには

- 1 ログオンクレデンシャルを使って NetBackup Appliance の管理シェルメニューにログオンします。
- 2 Main_Menu> プロンプトで Monitor と入力して Enter キーを押します。
コマンドプロンプトが Monitor> に変更されます。
- 3 次のコマンド Hardware ShowHealth ExpansionShelf ExpansionShelfID Product を入力して Enter キーを押します。

メモ: *ExpansionShelfID* は拡張ストレージシェルフの ID です。*ExpansionShelfID* を確認するには、Main > Monitor > Hardware ShowComponents コマンドを使います。

たとえば、Monitor > Hardware ShowHealth ExpansionShelf 0 Product と入力します。

該当する場合は、シャーシ番号だけでなく拡張ストレージシェルフのシリアル番号も表示されます。次の例を参照してください。

```
Hardware Monitoring Information
+-----+-----+-----+-----+
| Name | Manufacturer | Serial | Chassis |
+-----+-----+-----+-----+
| NetBackup 5330 Expansion Storage | Symantec | SN | 711412000089 |
| Shelf 0 | | SV43104240 | |
+-----+-----+-----+-----+
```

詳しくは、『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。

パスワード管理およびリカバリについて

アプライアンスへのアクセスを回復するために、admin パスワードまたはユーザーパスワードのリカバリが必要な場合があります。パスワードのリカバリは次の方法に基づいて行うことができます。

表 2-3 ローカルユーザーと LDAP ユーザーのパスワードのリカバリ

ユーザーの種類	パスワードの変更手順	パスワードのリカバリの状況とアクション
ローカルユーザー	<p>NetBackup Appliance Web Console で[設定 (Settings)]>[パスワード管理 (Password Management)]の順にタブを選択します。</p>	<p>状況: パスワードを保守する従業員が退職したり、パスワードを紛失または忘れていたりすることがあります。</p> <p>アクション: このような状況が発生した場合は、Veritas のテクニカルサポートに問い合わせ、TechNote TECH189518/000016161 を参照するよう担当者に依頼してください。</p>
LDAP ユーザー、Active Directory ユーザー、Kerberos-NIS ユーザー	<p>パスワードをリセットまたは変更するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Active Directory サーバー、LDAP サーバーまたは Kerberos-NIS サーバーのユーザーパスワードを更新します。 ■ NetBackup Appliance Web Console で[設定 (Settings)]、[パスワード管理 (Password Management)]の順に選択して、[パスワード管理 (Password Management)]タブでアプライアンスの admin パスワードを変更します。 	<p>状況: LDAP ユーザーが退職したり、パスワードを紛失または忘れていたりすることがあります。LDAP ユーザーのパスワードをリセットまたは変更するには次の手順を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ LDAP サーバーを使ってパスワードをリカバリします。 ■ パスワードの変更については、Veritas テクニカルサポートに問い合わせてください。

トラブルシューティングツールについて

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Appliance のトラブルシューティングのツール](#)
- [ハードウェア監視について](#)
- [NetBackup サポートユーティリティについて](#)

NetBackup Appliance のトラブルシューティングのツール

この章では、NetBackup Appliance で直面する問題の診断に使用できるツールおよびコマンドについて説明します。次のセクションが含まれます。

表 3-1 トラブルシューティングツールの章のセクション

セクション	説明	リンク
ハードウェア監視について	このセクションでは、アプライアンスで利用可能なハードウェア監視およびアラートメカニズムについて説明します。	p.18の「 ハードウェア監視について 」を参照してください。
NetBackup サポートユーティリティについて	このセクションでは、NetBackup Appliance でサポートされている NetBackup サポートユーティリティについて説明します。	p.18の「 NetBackup サポートユーティリティについて 」を参照してください。

特定の問題に関する具体的なトラブルシューティング情報については、Veritas サポート Web サイトの [アプライアンスのページ](#) を参照してください。このページには、NetBackup

Appliance に関する記事およびトラブルシューティング情報が含まれています。検索機能を使って、特定の問題に関する有用な記事を検索できます。

ハードウェア監視について

アプライアンスにはハードウェアの問題について自身を監視する機能があります。注意を必要とする問題を検出した場合は、次の通知のしくみを使うことができます。

- NetBackup Appliance Web Consoleからのハードウェアの監視とアラート。
- コールホームを使ったベリタスへの通知送信。
- ローカル管理者への電子メール送信。
- SNMP マネージャへのアラート送信。
アプライアンスの SNMP トラップの詳細と、エラー発生時のお勧めの対処法については、『NetBackup Appliance SNMPトラップリファレンスガイド』を参照してください。

ハードウェア監視機能の詳しい説明については、『NetBackup Appliance 管理者ガイド』を参照してください。

NetBackup サポートユーティリティについて

NetBackup Appliance には、NetBackup の問題の診断に役立つ次のサポートユーティリティが用意されています。

- 「NBDNA (NetBackup Domain Network Analyzer)」
- 「NetBackup サポートユーティリティ (NBSU)」

NBDNA (NetBackup Domain Network Analyzer)

NetBackup Appliance で NBDNA ユーティリティを実行すると、次のタスクを実行できます。

- ネットワーク関連の問題を解決するために NetBackup ドメイン構成を識別する
- NetBackup パフォーマンスの問題を特定する
- ホスト名のロックアップ動作が機能するかどうかを確認する
- NetBackup ドメイン内での役割に基づき、NetBackup ホストとアプライアンス間の接続が確立され、機能するかどうかを確認する
- Veritasテクニカルサポートに提出するレポートを生成する

NBDNA ユーティリティで次の種類の情報を出力します。

Running audit as Media Server.

```
Collection Version: x.x
  Collection Time: Tuesday, October 7, 2010 at 19:17:11 PM
    NBU Release: NetBackup-RedHat2.6.18 7.7.1
    NBU Version: 7.7.1
  NBU Major Version: 7
  NBU Minor Version: 7
  NBU Release Update: 1
    NBU Patch Type: Release Update
  NBU GlobDB Host: "host name"
  Is GlobDB HOST? No
    UNAME:
      Hostname: sample.name.veritas.com
  Host's Platform: Linux
  Perl Architecture: Linux
```

Initialization completed in 14.040101 seconds.

Brief Description of What It Does (for type 1):

- ```

```
- 1) Perform basic self checks.
  - 2) Check connectivity to Master (and EMM) server.
  - 3) If SSO configured, get list of media servers sharing devices.
  - 4) Get list of all clients which could send data here for backup.
  - 5) Test NBU ports for basic connectivity between media servers sharing devices.
  - 6) Test NBU ports for basic connectivity between media server and clients it backs up.
  - 7) Perform service level tests for phase 2
  - 8) Capture data for reports; save reports.
  - 9) Save data to report files.
- ```
-----
```

Discovering and mapping the NetBackup domain network for analysis by extracting data from current system's configuration.
(To see more details, consider using '-verbose' switch.)

Probing Completed in 2.867581 seconds.

Initiating tests...

```
COMPLETED. Thank you for your patience.
```

```
/log/dna/sample.name.veritas.com.NBDNA.20100907.191711.zip  
Archive created successfully!  
Return /log/dna/sample.name.veritas.com.NBDNA.20100907.191711.zip  
to Veritas Support upon request.
```

NetBackup サポートユーティリティ (NBSU)

NBSU ユーティリティを使用すると、NetBackup とオペレーティングシステムに関する適切な診断情報を収集できます。

NetBackup サポートユーティリティ (NBSU) は Veritas 社のユーティリティで、ユーティリティを実行するシステムの診断情報を収集するために使用します。デフォルトでは、NBSU はオペレーティングシステムと NetBackup 環境に基づいて適切な診断情報を収集します。

Support > NBSU コマンドを使って NBSU ユーティリティが使用する NetBackup 構成サポートファイルを作成または削除できます。

詳しくは、『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。

p.17 の「NetBackup Appliance のトラブルシューティングのツール」を参照してください。

ログファイルの使用

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Appliance](#) のログファイルについて
- [Support](#) コマンドの使用によるログファイルの表示
- [Browse](#) コマンドを使用した [NetBackup Appliance](#) ログファイルの参照場所
- [DataCollect](#) コマンドを使ったデバイスログの収集
- [NetBackup-Java](#) アプリケーションの情報収集について
- [VxMS](#) ログの有効化および無効化

NetBackup Appliance のログファイルについて

ログファイルは、アプライアンスで発生する可能性がある問題の特定と解決に役立ちます。

[NetBackup Appliance](#) では、ハードウェア、ソフトウェア、システム、パフォーマンス関連のデータを取得できます。ログファイルは、アプライアンス操作などの情報、未構成ポリシーまたはアレイなどの問題、温度またはバッテリーに関する問題、およびその他の詳細を取得します。

[表 4-1](#) に、アプライアンスのログファイルにアクセスするために使用できる方法を説明します。

表 4-1 ログファイルの表示

使用する媒体	アクセス方法	ログの詳細
NetBackup Appliance Web Console	NetBackup Appliance Web Consoleの[モニター (Monitor)]>[SDCS 監査ビュー (SCSP Audit View)]画面を使用して、アプライアンスの監査ログを取得できます。	アプライアンスの監査ログ

使用する媒体	アクセス方法	ログの詳細
NetBackup Appliance Shell Menu	<p>Main > Support > Logs > Browse コマンドを実行すると、LOGROOT/> プロンプトが開きます。ls や cd コマンドを使用して、アプライアンスのログディレクトリを走査できます。</p> <p>p.23 の「Support コマンドの使用によるログファイルの表示」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ Appliance の構成ログ ■ Appliance のコマンドログ ■ Appliance のデバッグログ ■ NetBackup ログ、Volume Manager ログ、openv ディレクトリに含まれている NetBackup ログ ■ Appliance のオペレーティングシステム (OS) インストールログ ■ NetBackup 管理 Web ユーザーインターフェースログと NetBackup Web サーバーログ ■ NetBackup 52xx アプライアンスのデバイスログ
NetBackup Appliance Shell Menu	<p>Main > Support > Logs > VxLogView Module <i>ModuleName</i> コマンドを実行して、Appliance VxUL (統合) ログにアクセスすることができます。Main > Support > Share Open コマンドを実行し、デスクトップを使用して VxUL ログのマップ、共有、コピーを行うこともできます。</p> <p>p.23 の「Support コマンドの使用によるログファイルの表示」を参照してください。</p>	<p>Appliance 統合ログ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ All ■ CallHome ■ Checkpoint ■ Commands ■ Common ■ Config ■ CrossHost ■ Database ■ Hardware ■ HWMonitor ■ Network ■ RAID ■ Seeding ■ SelfTest ■ Storage ■ SWUpdate ■ Trace ■ FTMS ■ FTDedup ■ TaskService ■ AuthService

使用する媒体	アクセス方法	ログの詳細
NetBackup Appliance Shell Menu	Main > Support > DataCollect コマンドを実行して、ストレージデバイスログを収集できます。 p.25 の「 DataCollect コマンドを使ったデバイスログの収集 」を参照してください。	Appliance ストレージデバイスログ
NetBackup Java アプリケーション	NetBackup Java アプリケーションに関する問題が発生した場合、このセクションのスクリプトを使って、サポートに連絡するために必要な情報を集めることができます。	NetBackup Java アプリケーションに関するログ

Support コマンドの使用によるログファイルの表示

次のセクションを使ってログファイルの情報を表示できます。

Support > Logs > Browse コマンドを使用してログを表示する方法

- 1 NetBackup Appliance Shell Menu で Main_Menu > Support > Logs を使用して参照モードにしたら、Browse コマンドを実行します。LOGROOT/> プロンプトが表示されます。
- 2 アプライアンスの利用可能なログディレクトリを表示するには、LOGROOT/> プロンプトで ls と入力します。
- 3 いずれかのログディレクトリで利用可能なログファイルを参照するには、cd コマンドを使って、選択するログディレクトリにディレクトリを変更します。プロンプトが現在のディレクトリを示すように変わります。たとえば、ディレクトリを os ディレクトリに変更した場合、プロンプトは LOGROOT/os/> と表示されます。そのプロンプトから ls コマンドを使うと、os ログディレクトリの利用可能なログファイルを表示できます。
- 4 ファイルを表示するには、less <FILE> または tail <FILE> コマンドを使います。ファイルは <FILE> で、ディレクトリは <DIR> でマーク付けされます。

p.24 の「[Browse コマンドを使用した NetBackup Appliance ログファイルの参照場所](#)」を参照してください。

Support > Logs コマンドを使用して NetBackup Appliance 統合 (VxUL) ログを表示する方法

- 1 Support > Logs > VXLogView コマンドを使用して、NetBackup Appliance 統合 (VxUL) ログを表示できます。コマンドをシェルメニューに入力し、次のオプションのうちいずれかを使用します。
 - Logs VXLogView JobID job_id
特定のジョブ ID に関するデバッグ情報の表示に使用します。

Browse コマンドを使用した NetBackup Appliance ログファイルの参照場所

- Logs VXLogView Minutes *minutes_ago*
特定の時間枠に関するデバッグ情報の表示に使用します。
- Logs VXLogView Module *module_name*
特定のモジュールに関するデバッグ情報の表示に使用します。

2 必要に応じて、Main > Support > Logs > Share Open コマンドを使って統合ログをコピーできます。デスクトップを使ってログのマップ、共有、コピーを行います。

また、Main_Menu > Support > Logs コマンドを使って次のことを実行することもできます。

- ベリタスのテクニカルサポートにログファイルをアップロードする
- ログレベルを設定する
- CIFS 共有と NFS 共有をエクスポートまたは削除する

メモ: NetBackup Appliance VxUL ログは、cron ジョブまたはスケジュール済みタスクによってアーカイブされなくなりました。さらに、ログの再利用が有効になり、デフォルトのログファイル数が 50 に設定されました。

上記のコマンドを使う方法について詳しくは『NetBackup Appliance コマンドリファレンスガイド』を参照してください。

p.21 の「[NetBackup Appliance のログファイルについて](#)」を参照してください。

Browse コマンドを使用した NetBackup Appliance ログファイルの参照場所

表 4-2 は、Support > Logs > Browse コマンドを実行することで、アクセス可能なログとログディレクトリの場所を提供します。

表 4-2 NetBackup Appliance ログファイルの場所

アプライアンスログ	ログファイルの場所
構成ログ	<DIR> APPLIANCE config_nb_factory.log
セルフテストレポート	<DIR> APPLIANCE selftest_report
ホスト変更ログ	<DIR> APPLIANCE hostchange.log

アプライアンスログ	ログファイルの場所
NetBackup ログ、Volume Manager ログ、 openv ディレクトリに含まれている NetBackup ログ	<DIR> NBU <ul style="list-style-type: none"> ■ <DIR> netbackup ■ <DIR> openv ■ <DIR> volmgr
オペレーティングシステム (OS) インストールロ グ	<DIR> OS boot.log boot.msg boot.omsg messages
NetBackup 重複排除 (PDDE) 構成スクリプトの ログ	<DIR> PD pdde-config.log
NetBackup 管理 Web ユーザーインターフェー スログと NetBackup Web サーバーログ	<DIR> WEBGUI <ul style="list-style-type: none"> ■ <DIR> gui ■ <DIR> webserver
デバイスログ	/tmp/DataCollect.zip Main > Support > Logs > Share Open コマンドを使うと、DataCollect.zip をローカ ルフォルダにコピーできます。

p.21 の「[NetBackup Appliance のログファイルについて](#)」を参照してください。

DataCollect コマンドを使ったデバイスログの収集

Main > Support シェルメニューから DataCollect コマンドを使ってデバイスログを収集できます。これらのデバイスログを ベリタスのサポートチームと共有することで、デバイス関連の問題を解決できます。

DataCollect コマンドは次のログを収集します。

- リリース情報
- ディスクパフォーマンスのログ
- コマンド出力ログ
- iSCSI ログ

メモ: iSCSI ログは /var/log/messages and /var/log/iscsiuio.log にあります。

- CPU 情報
- メモリ情報
- オペレーティングシステムのログ
- Patch ログ
- ストレージログ
- ファイルシステムログ
- Test hardware のログ
- AutoSupport ログ
- ハードウェア情報
- Sysinfo ログ

DataCollect コマンドを使ってデバイスログを収集する方法

- 1 NetBackup Appliance Shell Menu にログオンします。
- 2 Main > Support ビューから次のコマンドを入力して、デバイスログを収集します。

```
DataCollect
```

 アプライアンスは /tmp/DataCollect.zip ファイルにデバイスログを生成します。
- 3 Main > Support > Logs > Share Open コマンドを使って、DataCollect.zip をローカルフォルダにコピーします。
- 4 問題を解決するために、ベリタスのサポートチームに DataCollect.zip ファイルを送信できます。

p.21 の「[NetBackup Appliance のログファイルについて](#)」を参照してください。

NetBackup-Java アプリケーションの情報収集について

NetBackup-Java アプリケーションに問題が発生した場合、テクニカルサポートが必要とするデータを次のようにして収集します。

次のスクリプトおよびアプリケーションを使用して情報を収集できます。

jnbSA
 (NetBackup-Java 管理アプリケーションの起動スクリプト)

`/usr/opensv/netbackup/logs/user_ops/nbjlogs` のログファイルにデータを書き込みます。スクリプトを開始すると、このディレクトリ内のログを記録するファイルが示されます。通常、このファイルサイズは大きくなりません (通常は 2 KB 未満)。`/usr/opensv/java/Debug.properties` ファイルを参照して、このログファイルの内容に影響するオプションを調べます。

Windows の NetBackup-Java 管理アプリケーション

アプリケーションが起動されているコンピュータ上に **NetBackup** がインストールされている場合、スクリプトは `install_path¥NetBackup¥logs¥user_ops¥nbjlogs` でログファイルにデータを書き込みます。

NetBackup がこのコンピュータ上にインストールされていない場合、ログファイルは作成されません。ログファイルを作成するには、`install_path¥java¥nbjava.bat` の最後の “**java.exe**” の行を変更し、ファイルへの出力を指定します。

NetBackup がこのコンピュータ上にインストールされていない場合、スクリプトは `install_path¥Veritas¥Java¥logs` でログファイルにデータを書き込みます。

メモ: アプリケーションが起動されているコンピュータ上に **NetBackup** がインストールされていて、`install_path` が `setconf.bat` ファイルで設定されていない場合、スクリプトは `install_path¥Veritas¥Java¥logs` のログファイルにデータを書き込みます。

`/usr/opensv/java/get_trace`

UNIX/Linux のみ。

テクニカルサポートが分析するための **Java Virtual Machine** のスタックトレースを提供します。このスタックトレースは、実行インスタンスに関連付けられたログファイルに書き込まれます。

UNIX または Linux の場合:

ホストに問い合わせ、**NetBackup** とオペレーティングシステムに関する適切な診断情報を収集します。

`/usr/opensv/netbackup/bin/support/nbsu`

Windows の場合:

`install_path¥NetBackup¥bin¥support¥nbsu.exe`

次の例では、**Veritas** 社のテクニカルサポートが分析するトラブルシューティングデータを集める方法を示します。

アプリケーションが応答しません。操作がハングアップしているかどうかは、数分間様子を見てから判断します。操作によっては、完了するまで時間のかかるものもあります。特に、アクティビティモニターおよびレポートアプリケーションでは時間がかかります。

UNIX/Linux のみ: 数分後にもまだ応答がありません。	Javaアプリケーションを開始したアカウントで /usr/opencv/java/get_trace を実行します。このスクリプトによって、ログファイルにスタックトレースが書き込まれます。 具体的には、 root ユーザーアカウントで jnbSA を起動した場合、 root ユーザーアカウントで /usr/opencv/java/get_trace を実行します。これ以外のアカウントの場合、コマンドを実行してもエラーは発生しませんが、スタックトレースはデバッグログに追加されません。これは、 root ユーザーアカウントだけが、スタックトレースを出力するコマンドの実行権限を所有しているためです。
構成についてのデータを取得 します。	このトピックのリストに含まれる nbsu コマンドを実行します。 NetBackup のインストールが完了した後と、 NetBackup の構成を変更するたびに、このコマンドを実行します。
Veritas 社のテクニカルサポートへの連絡	分析用にログファイルと nbsu コマンドの出力を提供します。

VxMS ログの有効化および無効化

次の手順では、**NetBackup Appliance Shell Menu**から **VxMS** ログを有効化または無効化する方法を説明します。

メモ: ベリタスは、**VxMS** ログのサイズを考慮して、**VxMS** ログは問題をトラブルシューティングする必要がある場合にのみ有効化することをお勧めします。問題が解決されたら再度 **VxMS** ログを無効にします。

VxMS ログの現在の設定を確認するには、Support > Logs > GetLevel コマンドを使用します。

VxMS ログを有効化する方法

- 1 **NetBackup Appliance Shell Menu**の Support > Logs ビューから次のコマンドを実行します。

```
SetLevel VxMS 1
```

- 2 **GetLevel** コマンドを使用して、**VxMS** ログが有効になっていることを確認します。**VxMS** ログが有効な場合の **GetLevel** コマンド出力は次のようになります。

```
VxMS log level is set to 1
```

VxMS ログを無効化する方法

- 1 NetBackup Appliance Shell Menu の Support > Logs ビューから次のコマンドを実行します。

```
SetLevel VxMS 0
```

- 2 GetLevel コマンドを使用して、VxMS ログが無効になっていることを確認します。VxMS ログが無効な場合の GetLevel コマンド出力は次のようになります。

```
VxMS log level is set to 0
```

p.21 の「[NetBackup Appliance のログファイルについて](#)」を参照してください。

NetBackup Appliance のエラーメッセージ

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Appliance](#) のエラーメッセージについて
- 初期構成時に表示されるエラーメッセージ
- [NetBackup Appliance Web Console](#)に表示されるエラーメッセージ
- [NetBackup Appliance Shell Menu](#)に表示されるエラーメッセージ
- [NetBackup Appliance](#) に適用可能な [NetBackup](#) の状態コード

NetBackup Appliance のエラーメッセージについて

この章では、[NetBackup Appliance Web Console](#)や [NetBackup Appliance Shell Menu](#) を使って、[NetBackup Appliance](#) にアクセスするときに表示されることがある最も重要なエラーメッセージを示します。このセクションでは、各エラーメッセージに対する説明と推奨処置を示します。このセクションでは、[NetBackup Appliance](#) に適用可能な [NetBackup](#) の状態コードも一覧表示します。このセクションには、次の種類のエラーメッセージが含まれています。

- p.31 の「[初期構成時に表示されるエラーメッセージ](#)」を参照してください。
- p.32 の「[NetBackup Appliance Web Console](#)に表示されるエラーメッセージ」を参照してください。
- p.51 の「[NetBackup Appliance Shell Menu](#)に表示されるエラーメッセージ」を参照してください。
- p.60 の「[NetBackup Appliance](#) に適用可能な [NetBackup](#) の状態コード」を参照してください。

また、アプライアンスでは、特定のエラーが検出されると電子メールアラートを送信できます。アプライアンスの電子メールアラートには、一意のメッセージ識別子 (UMI) コードを持つエラーメッセージが含まれます。UMI コードは特定のエラー条件に関連付けられています。

各アラート電子メールには、関連する TechNote へのリンクが含まれています。リンクをクリックすると、発生した特定のエラーのエラー詳細および推奨されるユーザー操作を確認できます。

特定の UMI コードについて詳しくは、Veritas のサポート Web サイトに移動して、サポートが必要なコードを検索してください。

初期構成時に表示されるエラーメッセージ

表 5-1 に、NetBackup Appliance の初期構成中に表示されることがある、一般的なエラーメッセージをいくつか示します。

表 5-1 初期構成のエラー

エラーメッセージ	説明	推奨処置
予期しないエラーにより DNS 設定またはホスト名解決エントリの構成に失敗しました。	このエラーメッセージは DNS 情報の設定に問題があるとき表示されます。このエラーは、スクリプトが有効な入力値を戻さないか、予期しない状態が発生したために発生することがあります。	DataCollect コマンドを使用してデバイスのログを収集し、サポートにお問い合わせください。
予期しないエラーにより、ホスト構成の設定のロードに失敗しました。	このメッセージは、アプライアンスの DNS 情報の取得に問題がある場合に表示されます。このエラーは、スクリプトが有効な入力値を戻さないか、予期しない状態が発生したために発生することがあります。	DataCollect コマンドを使用してデバイスのログを収集し、サポートにお問い合わせください。
ホスト名「NAME」を設定できません。アプライアンスで発生した内部エラーです。詳細な理由を参照するにはログを確認してください。	このエラーは次の理由により発生する可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ アプライアンスの IP アドレスは、ホスト名を設定するときに構成されません。 ■ 短縮名または完全修飾ドメイン名 (FQDN) のホスト名のいずれかとして「nb-appliance」をとおうとする場合。 ■ その他の内部エラー 	この問題を解決するには、次の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ホスト名が構成される前にアプライアンスの IP アドレスを構成します。 ■ 短い名前「nb-appliance」と FQDN 「nbappliance.domain.com」以外のホスト名をします。 ■ 上記の処理で問題が解決しない場合は、DataCollect コマンドを使ってすべての Vxul ログを収集して、テクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
マスターサーバーに接続できません。	このメッセージは次の理由により表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> メディアとして役割を選択し、マスターサーバーのホスト名を入力する場合。 マスターサーバーが到達可能ではないか、マスターサーバーでの NetBackup プロセスが停止している場合。 	次の検査の実行によってこの問題を解決できます。 <ul style="list-style-type: none"> マスターサーバーが ping に応答するかどうかを調べてください。 すべての NetBackup プロセスが実行中であることを確認してください。
ユーザー入力値が正しくありません - マスターサーバー名をアプライアンスのホスト名と同じにすることはできません。	このメッセージは、メディアとして役割を選択し、マスターサーバーのホスト名を入力する場合に表示されます。	正しいマスターサーバー名を入力してください。

p.60 の「[NetBackup Appliance に適用可能な NetBackup の状態コード](#)」を参照してください。

p.51 の「[NetBackup Appliance Shell Menu](#)に表示されるエラーメッセージ」を参照してください。

p.32 の「[NetBackup Appliance Web Console](#)に表示されるエラーメッセージ」を参照してください。

NetBackup Appliance Web Consoleに表示されるエラーメッセージ

このセクションでは、NetBackup Appliance Web Consoleを使用して NetBackup Appliance を操作中に次のタブで表示される可能性のある共通のエラーメッセージをリストします。

- [表 5-2](#) ではログイン画面および NetBackup Appliance Web Consoleダッシュボードに表示されるエラーメッセージをリストします。
- [表 5-3](#) では[モニター (Monitor)]>[ハードウェア (Hardware)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- [表 5-4](#) では[監視 (Monitor)]>[SDCS]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- [表 5-5](#) では[管理 (Manage)]>[ストレージ (Storage)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- [表 5-6](#) では[管理 (Manage)]>[ホスト (Host)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。

- **表 5-7** では[管理 (Manage)]>[アプライアンスのリストア (Appliance Restore)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-8** では[管理 (Manage)]>[ライセンス (License)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-9** では[管理 (Manage)]>[移行ユーティリティ (Migration Utility)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-10** では[管理 (Manage)]>[ソフトウェア更新 (Software Updates)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-11** では[管理 (Manage)]>[追加サーバーを追加 (Add Additional Server)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-12** では[設定 (Settings)]>[通知 (Notification)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-13** では[設定 (Settings)]>[ネットワーク (Network)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-14** では[設定 (Settings)]>[日付と時刻 (Date and Time)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-15** では[設定 (Settings)]>[認証 (Authentication)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-16** では[設定 (Settings)]>[パスワード (Password)]タブに表示されるエラーメッセージをリストします。
- **表 5-17** では **NetBackup Appliance Web Console**のすべてのタブに共通のエラーメッセージをリストします。

表 5-2 では、ログイン画面および **NetBackup Appliance Web Console**ダッシュボードに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-2 ログイン画面および **NetBackup Appliance Web Console**ダッシュボード

エラーメッセージ	説明	推奨処置
現在のセッションが期限切れになりました。ログインページにリダイレクトしています。	現在のセッションは、アプライアンス NetBackup Appliance Web Console が 10 分を超えてアイドル状態だったため期限切れになりました。	アプライアンスに再度ログオンしてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
ログインに失敗しました。詳しくは[?]をクリックしてください。	<p>このエラーは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ そのアプライアンスで初期構成が進行中に、NetBackup Appliance Web コンソールの新しいインスタンスにログオンしようとした場合に表示されます。 ■ 予想外のエラーが発生しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ NetBackup Appliance Web コンソールの複数のインスタンスを使って単一のアプライアンスにログオンしないようにします。 ■ Web コンソールのログを表示して、例外スタックを表示し、プログラム上のすべてのステートメントを追跡します。[ログの収集 (Collect Logs)]ウィザードを使用して、ログを表示できます。
ユーザー認証に失敗しました。有効なユーザー名とパスワードを入力してください。それでも問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。	<p>このエラーは次の原因で表示される場合もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 提供されたユーザー名とパスワードが正しくない場合。 ■ 認証サーバーが応答しません。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 正しいユーザー名とパスワードを入力したことを確認します。 ■ エラーが再度発生したらシステム管理者に連絡してください。
接続がタイムアウトになりました。	<p>このエラーは、Web サーバーが応答せずログインページが表示されない場合に表示されます。</p>	<p>詳しくはシステム管理者に問い合わせてください。</p>
接続できません	<p>このエラーは、Web サーバーが終了している場合に表示されません。</p>	<p>詳しくはシステム管理者に問い合わせてください。</p>
Symantec Product Authentication Service (AT) への接続中にエラーが発生しました。 AT サービスが実行されていることを確認してください。	<p>このエラーは認証サーバーが応答しない場合に表示されます。</p>	<p>エラーが再度発生したらシステム管理者に連絡してください。</p>
予期しないエラーが発生したため、重複排除率を取得できません。	<p>このエラーは、現在の重複排除率が重複排除タイルに表示できない場合に表示されます。</p>	<p>重複排除ソリューションが構成されていることを確認してください。問題が解決しない場合は、ベリタスのサポートに問い合わせてください。</p>
重複排除率を取得できません。 10 分後にもう一度確認してください。	<p>このエラーは、重複排除率が予期しないエラーが原因で表示できない場合に表示されます。</p>	<p>10 分後にダッシュボードからの情報を更新してください。エラーが解決しない場合は、ベリタスのサポートに問い合わせてください。</p>

エラーメッセージ	説明	推奨処置
認識されないまたは無効なユーザーのためログインに失敗しました。(Login failure due to an unrecognized or invalid user)	ユーザーが LDAP ディレクトリから削除され(かつ、アプライアンスログイン許可リストから削除されていない)ているが、ユーザーが LDAP 認可ユーザーとしてリストに登録されている場合、ユーザーはログインできません。したがって、これらのユーザーはセキュリティ上の脅威とはなりません。	この場合、アプライアンスを使用するよう設定されている LDAP ユーザーは、LDAP ディレクトリから削除し、最初にアプライアンスから削除する必要があります。そうしないと、アプライアンスのユーザーリストからそのユーザーを削除できません。

表 5-3 では[モニター (Monitor)]>[ハードウェア (Hardware)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-3 [モニター (Monitor)]>[ハードウェア (Hardware)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
ハードウェアの健全性に関する情報を取得できませんでした。	このメッセージは、アプライアンスがハードウェアの健全性に関する情報を取得できない時に表示されます。	少なくとも 10 分間待ってから、改めて健全性情報を表示してください。問題が解決しない場合は、Veritas のテクニカルサポートに問い合わせてください。
ディスクドライブのライトを点灯できません。	このメッセージは、ディスクドライブのビーコンを点灯できない場合に表示されます。	ディスクドライブのビーコンに技術的な問題がある可能性があります。ベリタスのテクニカルエンジニアにビーコンの修理を依頼してください。
無効なエントリです。1 から 300 までの整数を入力してください。	このメッセージは、ビーコンの点灯時間に無効な値を入力したときに表示されます。値は整数にし、1 から 300 (分) までの範囲内にしてください。	ビーコンの点灯時間として入力した値を確認し、有効範囲内にあることを確認してください。
アダプタは検出されませんでした。	このメッセージは、アダプタ情報を取得できない時に表示されません。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
BBU は検出されませんでした。	このメッセージは、バッテリーバックアップユニット (BBU) 情報を取得できない時に表示されません。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
CPU は検出されませんでした。	このメッセージは、CPU 情報を取得できない時に表示されません。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
ディスクは検出されませんでした。	このメッセージは、ディスク情報を取得できない時に表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
ファンは検出されませんでした。	このメッセージは、ファン情報を取得できない時に表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
ファームウェアは検出されませんでした。	このメッセージは、ファームウェア情報を取得できない時に表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
MSDP 情報は使用できません。	このメッセージは、MSDP がアプライアンスで設定されていないか、アプライアンスがステータス情報を取得できないときに表示されます。	アプライアンスで MSDP が設定されているか確認してください。MSDP が設定されているのにこのエラーが発生する場合は、エラーを解決するためベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
パーティション情報は使用できません。	このメッセージは、パーティション情報を取得できない時に表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
RAID グループは検出されませんでした。	このメッセージは、RAID グループ情報を取得できない時に表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
温度情報は使用できません。	このメッセージは、温度情報を取得できない時に表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
接続情報をフェッチできません	このメッセージは、5330 アプライアンスの接続情報を取り込めないときに表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
コントローラは検出されませんでした	このメッセージは、5330 アプライアンスのコントローラ情報を取り込めないときに表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
ボリュームは検出されませんでした	このメッセージは、5330 アプライアンスのボリューム情報を取り込めないときに表示されます。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。

表 5-4 では[監視 (Monitor)]>[SDCS]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-4 [監視 (Monitor)]>[SDCS]

エラーメッセージまたはエラーの種類	説明	推奨処置
証明書のダウンロードに失敗	SDCS サーバー用に提供された SSL 証明書が見つからず、ダウンロードできません。	インターネット接続を確認し、証明書のダウンロードに使われたパスを検証して再試行してください。
有効なポートを入力してください	提供された SDCS サーバーポートの詳細が正しくありません。	SDCS サーバー用に入力したポート番号が正しいことを確認してください。
表示する監査ログはありません。	SDCS ログを NetBackup Appliance Web Console に表示することができません。このエラーは次の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ SDCS サーバーに接続済みであり、監査ログが SDCS サーバーに現在プッシュ型で転送されている場合。 ■ ログがローカルで利用できない場合。 	SDCS ログを表示するには、SDCS サーバーにログオンしてログを確認します。
表示する監査ログはありません。	SDCS サーバーに接続していない場合はログを参照できません。	次のいずれかの方法でこのエラーを解決してください。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 何回か GUI を更新し、NetBackup Appliance Shell Menu を使用して検証してください。 ■ Web サーバーを停止し、再起動してください。[監視 (Monitor)]>[SDCS] タブを再表示してください。

表 5-5 では [管理 (Manage)]>[ストレージ (Storage)] タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-5 [管理 (Manage)]>[ストレージ (Storage)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
ストレージ情報のフェッチに失敗しました。	このエラーは次の原因で表示される場合もあります。 <ul style="list-style-type: none"> このメッセージは、アプライアンスストレージコンポーネントがパーティション、ディスク、配布物をフェッチできない場合に表示されます。 このメッセージは、アプライアンスのコアと NetBackup Appliance Web Console間の接続が失われた場合にも表示されます。 	ベリタスのサポートに問い合わせてください。 警告: これは回復不可能なエラーです。すべての Vxul ログを、DataCollect コマンドを使用して収集し、エラーをデバッグするために ベリタスのサポートチームと共有する必要があります。
ソースディスクと宛先ディスクが同じです。	このメッセージは、パーティションの移動操作を実行するときに表示できます。[元 (From)]および[宛先 (To)]ドロップダウンリストで同じディスク名を選択している場合に発生します。	同じディスク名を選択することはできません。ソースと異なるターゲットディスクを選択してください。
最大長は 256 文字です。(The maximum length is 256 characters.)	このメッセージは、ストレージユニットまたはディスクプールに付けられた名前エラーがある場合に表示されます。	256 文字未満の名前を入力してください。
次の文字は許可されません: ストレージユニットおよびディスクプール名内 (The following characters are not allowed: in the storage unit and disk pool name)	このメッセージは、ストレージユニットまたはディスクプールに付けた名前が次の文字を含んでいる場合に表示されます。 `~!@#\$\$%^&*()= ¥¥¥¥"¥!";<,>,/` `~!@#\$\$%^&*()= ¥¥¥¥"¥!";<,>,/`	次の特殊文字を、ストレージユニットまたはディスクプール名から削除してください。 `~!@#\$\$%^&*()= ¥¥¥¥"¥!";<,>,/`

表 5-6 は [管理 (Manage)] > [ホスト (Host)] タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-6 [管理 (Manage)]>[ホスト (Host)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
重複排除のパラメータをリセット中にエラーが発生しました。(Error resetting deduplication parameters.)	アプライアンスは現在の重複排除パラメータをデフォルト設定にリセットできません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
重複排除のパラメータを取得中にエラーが発生しました。	アプライアンスの現在の重複排除のパラメータは表示することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
重複排除のパラメータを更新中にエラーが発生しました。	アプライアンスの現在の重複排除のパラメータを新しいパラメータに更新することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
データバッファのパラメータのリセット中にエラーが発生しました。	アプライアンスは現在のデータバッファパラメータをデフォルト設定にリセットできません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
データバッファのパラメータの更新中にエラーが発生しました。	アプライアンスの現在のデータバッファパラメータを新しいパラメータに更新することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
データバッファのパラメータを取得中にエラーが発生しました。	アプライアンスの現在のデータバッファパラメータは表示することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ストレージライフサイクルパラメータの取得中にエラーが発生しました。	アプライアンスの現在のストレージライフサイクルのパラメータは表示することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ストレージライフサイクルパラメータの更新中にエラーが発生しました。	アプライアンスの現在のストレージライフサイクルのパラメータを新しいパラメータに更新することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
BMR のステータスを取得中にエラーが発生しました。	アプライアンスの現在の BMR のステータスは表示することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
BMR 設定を更新中にエラーが発生しました。 アプライアンスで BMR のステータスを更新中にエラーが発生しました。	アプライアンスの BMR 設定を有効にすることができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
BMR オプションが選択されていませんでした。	アプライアンスの BMR 設定を有効にすることができません。	[この Appliance に対し BMR を有効化 (Enable BMR on this Appliance)] オプションを選択します。

表 5-7 では[管理 (Manage)]>[アプライアンスのリストア (Appliance Restore)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-7 管理 (Manage) > アプライアンスのリストア (Appliance Restore)

エラーメッセージ	説明	推奨処置
アプライアンスの一部またはすべてをリセットできませんでした。	システムリソースがビジー状態である可能性があります。	アプライアンスを再起動し、出荷時設定へのリセットを再試行してください。
ストレージをリセットできませんでした。詳しくはログを確認してください。	マウントポイントがビジー状態である可能性があります。	ログを確認し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
出荷時にはチェックポイントが存在しないため、出荷時設定へのリセットはサポートされません。このアプライアンスのリセット方法について詳しくは、『Veritas NetBackup Appliance 管理者ガイド』を参照してください。NetBackup Appliance Web Consoleの右上にある[?]をクリックします。	このエラーは、アップグレードした後でアプライアンスをリセットしようとするとき生じます。	アップグレード後のチェックポイントにアプライアンスをロールバックしてください。
アプライアンスのチェックポイントの作成に失敗しました。[完了 (Finish)]をクリックして、[アプライアンスのリストア (Appliance Restore)]ページに戻ります。	このエラーは、チェックポイントを保存するのに十分なディスク容量がないために生じることがあります。	エラーメッセージ上にリストされる追加情報を確認してください。操作を再試行してください。こういった障害ではクリーンアップを行い、ディスク容量を解放することができます。
チェックポイントの検証が失敗しました。ロールバック操作が開始できません。NetBackup Appliance Web Consoleの右上にある[?]をクリックします。	安全なネットワーク通信に問題がありません。	エラーメッセージ上にリストされる追加情報を確認してください。エラーを訂正し、操作を再試行してください。
アプライアンスの構成のロールバックが成功しませんでした。NetBackup Appliance Web Consoleの右上にある[?]をクリックします。	アプライアンス設定 (NetBackup Appliance Directory) のロールバックが失敗しました。	ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

表 5-8 では [管理 (Manage)] > [ライセンス (License)] タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-8 [管理 (Manage)] > [ライセンス (License)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
選択したライセンスはメディアサーバー {0} から削除できませんでした。 選択したライセンスはマスターサーバー {0} から削除できませんでした。	このエラーは、内部システムエラーが原因で発生することがあります。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
ライセンスを追加中にエラーが発生しました。	このエラーは次の原因で表示される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ライセンスキーが無効の場合。 ■ 内部システムエラーが原因の場合。 	この問題を解決するには、次の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ライセンスが有効であるかどうか確認するか、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせます。 ■ DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ライセンスを削除中にエラーが発生しました。	このエラーは、内部システムエラーが原因で発生することがあります。	DataCollect コマンドを使用してすべてのログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ライセンスリストを取得中にエラーが発生しました。	このエラーは、内部システムエラーが原因で発生することがあります。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ライセンスキーのロード中にエラーが発生しました。	このエラーは、内部システムエラーが原因で発生することがあります。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ライセンスキー: {0} のメディアサーバー {1} へのインストールは失敗しました。	このエラーは次の原因で表示される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ライセンスキーが無効の場合。 ■ 内部システムエラーが原因の場合。 	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

表 5-9 では[管理 (Manage)]>[移行ユーティリティ (Migration Utility)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-9 [管理 (Manage)]>[移行ユーティリティ (Migration Utility)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
選択した基準を送信できませんでした。	このメッセージは、NetBackup 内部に問題または通信エラーがある場合に表示されます。	断続的な通信エラーが原因である場合もあるため、再試行してみてください。問題が解決しない場合、詳細を取得するため GUI のログを DataCollect コマンドを使用して収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
ジョブをキャンセルできませんでした。	このメッセージは、NetBackup 内部に問題または通信エラーがある場合に表示されます。	断続的な通信エラーが原因である場合もあるため、再試行してみてください。問題が解決しない場合、詳細を取得するため GUI のログを DataCollect コマンドを使用して収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ジョブの詳細を取得できませんでした。	このメッセージは、NetBackup 内部に問題または通信エラーがある場合に表示されます。	断続的な通信エラーが原因である場合もあるため、再試行してみてください。問題が解決しない場合、詳細を取得するため GUI のログを DataCollect コマンドを使用して収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
選択したポリシーを送信できませんでした。	このメッセージは、NetBackup 内部に問題または通信エラーがある場合に表示されます。	断続的な通信エラーが原因である場合もあるため、再試行してみてください。問題が解決しない場合、詳細を取得するため GUI のログを DataCollect コマンドを使用して収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

表 5-10 では[管理 (Manage)]>[ソフトウェア更新 (Software Updates)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-10 管理 (Manage) > ソフトウェア更新 (Software Updates)

エラーメッセージ	説明	推奨処置
オンライン更新のロードが失敗しました。	このエラーは、アプライアンスがオンライン更新の取得に失敗したときに表示されます。	ベリタスのソフトウェアの更新センターへのネットワーク接続を確認するか、内部エラーがないかスクリプトを確認してください。
利用可能な更新のロードが失敗しました。	このエラーは、利用可能な更新を取得せず、ダウンロード済みのソフトウェアの更新の状態を取得できなかったときに表示されます。	内部エラーがないかスクリプトを確認してください。
オンライン更新リストを取得中にエラーが発生しました。	このエラーは、オンライン更新の取得エラーがあるときに表示されます。	ベリタスのソフトウェアの更新センターへのネットワーク接続を確認するか、内部エラーがないかスクリプトを確認してください。
ソフトウェアの更新リストを取得中にエラーが発生しました。	このエラーは、ソフトウェアの更新リストが取得できない場合に表示されます。	内部エラーがないかスクリプトを確認してください。

表 5-11 では[管理 (Manage)]>[追加サーバー (Additional Servers)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-11 [管理 (Manage)]>[追加サーバー (Additional Servers)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
追加サーバーを追加できません。	このエラーは、内部システムエラーが原因で発生することがあります。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
追加サーバーを削除できません。	このエラーは、内部システムエラーが原因で発生することがあります。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
区切り文字としてカンマ (,) を使用し、有効なサーバー名のエンティティを入力してください。	このエラーは、サーバー名が、カンマなしで追加されるか、サーバーのリストがカンマで終了している場合に表示されます。	サーバーのリストを確認し、サーバー名がカンマを使用して区切られており、リストがカンマで終了していないことを確認してください。

表 5-12 では[設定 (Settings)]>[通知 (Notification)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-12 [設定 (Settings)] > [通知 (Notification)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
このシステムがベリタスに対してプロビジョニングされているか確認してください。	このエラーは、アプライアンスが AutoSupport にプロビジョニングされず、[設定 (Settings)]>[通知 (Notifications)]ページで変更を保存使用すると発生する場合があります。	アプライアンスを AutoSupport サーバー (または登録サーバー) にプロビジョニングしてください。問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
コールホームのテストが失敗しました。このシステムが正しくベリタスにプロビジョニングされていることを確かめてください。	このエラーメッセージは、アプライアンスがプロビジョニングされないときに[設定 (Settings)]>[通知 (Notifications)]ページの[コールホームの構成の設定 (Call Home Configuration Settings)]ページの[コールホームのテスト (Test Call Home)]をクリックすると表示されます。	AutoSupport サーバーにアプライアンスをプロビジョニングしてください。問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
コールホームを有効にできませんでした。	このエラーは、コールホームを有効にできないときに[設定 (Settings)]>[通知 (Notifications)]ページの変更を保存しようすると発生することがあります。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
コールホームを無効にできませんでした	このエラーは、コールホームを無効にできないときに[設定 (Settings)]>[通知 (Notifications)]ページの変更を保存しようとするが発生することがあります。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
コールホームサーバーに到達できません。	アプライアンスがコールホームサーバーに到達できないときに、このエラーが発生する場合があります。	このエラーを解決するには、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
プロキシ認証が失敗しました。1 つ以上のプロキシエントリを解決できなかったか検証できませんでした。プロキシエントリを見直し、必要な修正をしてください。	このエラーメッセージは、プロキシサーバーを有効にしながら無効な認証詳細を入力し、[設定 (Settings)]>[通知 (Notifications)]タブで変更を保存しようとする则表示されます。	プロキシサーバーの正しく、有効な認証詳細 (プロキシサーバーの証明書など) を入力しているか確認してください。
SNMP または SMTP サーバーでハードウェア管理者の電子メールが設定されている場合は、通知間隔は空白または 0 にできません。15 の倍数で通知間隔を入力します。	[アラートの構成 (Alert configuration)] タブの [通知の間隔 (Notification Interval)] フィールドが空白になっているか、SNMP 詳細を有効にした後で 0 (ゼロ) を入力するか、SMTP 詳細を入力し、[設定 (Settings)]>[通知 (Notifications)] タブで変更を保存しようとするこのメッセージが表示されます。	[アラートの構成 (Alert configuration)] タブの [通知の間隔 (Notification Interval)] フィールドに値を入力したか、またこの値が 15 の倍数かつゼロでない値になっていることを確認してください。
プロキシサーバーとプロキシポートのフィールドは必須です。	このメッセージは、[プロキシサーバーを有効化 (Enable proxy server)] チェックボックスを選択しているのに必須のプロキシサーバーの詳細が空白のときに表示されます。	プロキシサーバーの設定に必要な正しい値を入力したことを確認してください。
プロキシポートの値は 1~65535 の範囲の整数である必要があります。	このメッセージは、無効な値がプロキシサーバーのポート番号に入力されているときに表示されます。	プロキシサーバーのポート番号に正しく有効な値を入力していることを確認してください。
プロキシサーバーに対して無効な値が入力されています。	このメッセージは、プロキシサーバーの設定中に無効な IPv4 または IPv6 アドレスのような、無効な値を入力すると表示されます。	プロキシサーバーの設定時に入力した値が正しく、有効であることを確認してください。
プロキシサーバーのユーザー名を入力してください。(Please enter the user name for proxy server)	このメッセージは、プロキシサーバーのパスワードが入力してあり、プロキシサーバーのユーザー名が入力されていないときに表示されます。	プロキシサーバーの有効なユーザー名およびパスワードを入力してください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
テスト用電子メールを送信できませんでした。このアプライアンスに対して、SMTP サーバーと電子メールの設定が正しいか確認してください。続行しますか。	テスト電子メールが[SMTP サーバーの構成の設定 (SMTP Server Configuration)]を使用して送信できない場合や、SMTP サーバーが一時的に到達不能の場合で、SMTP サーバーの設定詳細が正しく入力されていない場合にこのエラーが表示されます。	SMTPサーバーの構成の設定を確認し、テスト電子メールを送信してみてください。

表 5-13 では[設定 (Settings)]>[ネットワーク (Network)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-13 [設定 (Settings)]>[ネットワーク (Network)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
VLAN の作成に失敗しました。<vlan_id> はすでに存在します。	このメッセージは、すでに存在する <vlan_id> を VLAN にタグ付けしようとした場合に表示されます。	VLAN ID は一意の識別子です。したがって、別の <vlan_id> を VLAN にタグ付けするよう指定してください。
VLAN <vlan_id> にタグ付けできません。指定された IP アドレス <ip> はすでに構成されています。使用中でない IP アドレスを指定してください。	このメッセージは、別のインターフェースにすでに構成されている IP アドレスを VLAN にタグ付けしようとした場合に表示されます。	他のインターフェースで使われていない IP アドレスを指定してください。
サブネットマスク <subnet_mask> が無効です。	このメッセージは、無効なサブネットマスクを入力した場合に表示されます。	有効なサブネットマスクを入力してください。
IP アドレスが無効です。IP アドレス <ip> は使用中です。検証するには Main->Network->Show Status を使います。	このメッセージは、別のインターフェースに構成されている IP アドレスを使って結合を形成しようとした場合に表示されます。	他のインターフェースで使われていない IP アドレスを指定してください。
ルーティング情報の更新に失敗しました。指定されたルーティング情報では、ネットワークゲートウェイに到達できません。ネットワークインターフェース設定を使って到達できるサブネットマスクの範囲に含まれていないため、ゲートウェイに到達できない可能性があります。	このメッセージは、別のドメイン内のゲートウェイの情報を入力した場合に表示されます。	ドメインに対応するゲートウェイの情報を入力してください。
WAN の最適化設定を取得中にエラーが発生しました。	このメッセージは、内部システムエラーが原因で表示されます。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
ファイバートランスポートの設定の取得中にエラーが発生しました。	アプライアンスの現在のファイバートランスポートの設定は表示することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
FT フラグの構成を有効/無効にする際にエラーが発生しました。	ファイバートランスポートの設定を、アプライアンスで有効にすることができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
SAN クライアントのフラグ構成を更新中にエラーが発生しました。	SAN クライアントのファイバートランスポートをアプライアンスで有効にすることができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ロードできませんでした。	アプライアンスの現在のファイバートランスポートの設定は表示することができません。	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
このアプライアンスに、検出可能な FC HBA カードが含まれていません。ヘルプ (?) アイコンをクリックして、ご使用のアプライアンスの構成に HBA カードが含まれているかを確認してください。	<p>この情報は次のシナリオで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アプライアンスがそのハードウェア構成に HBA カードを含んでいません。たとえば、構成 A の NetBackup 5220 アプライアンスです。 ■ アプライアンスが 1 つ以上の HBA カードを搭載しているが、すべての HBA カードでエラーが発生しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『NetBackup Appliance 製品説明ガイド』を参照して、ご使用のアプライアンスの構成に 1 つ以上の HBA カードが含まれているか確認します。 ■ アプライアンスの構成に 1 つ以上の HBA カードが含まれている場合は、DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
アプライアンスは、 FC での最適化複製とレプリケーション用のターゲットホストとして使える HBA カードを搭載していません。ヘルプ (?) アイコンをクリックして、ご使用のアプライアンスの HBA 構成がこの機能をサポートしていることを確認してください。	<p>この情報は次のシナリオで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アプライアンスが 1 つ以上の HBA カードを搭載しているが、この機能をサポートしていません。たとえば、構成 C の NetBackup 5330 アプライアンスです。 ■ 最適化複製とレプリケーション用のターゲットホストとして使用するすべての HBA カードでエラーが発生しています。で 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 製品説明ガイドを参照して、アプライアンスの構成がこの機能をサポートしているか確認してください。 ■ アプライアンスの構成に、この機能をサポートする 1 つ以上の HBA カードが含まれている場合は、DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
現在の HBA カードの構成が、FC での最適化複製とレプリケーション用のターゲットホストとしてこのアプライアンスを使用することをサポートしていません。ヘルプ(?)アイコンをクリックして、サポートされている HBA 構成を確認してください。	現在の HBA カード構成が最適化複製またはレプリケーション用のターゲットホストとして使用できません。構成が、この機能で必要となる標準の HBA 構成ではありません。HBA カードの構成が、次の理由により非標準になる可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ HBA カードの追加 ■ HBA カードの取り外し ■ HBA カードのエラー 	DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

表 5-14 では[設定 (Settings)]>[日付と時刻 (Date and Time)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-14 [設定 (Settings)]>[日付と時刻 (Date and Time)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
日付と時刻の設定を保存できません。	このエラーは次の原因で表示される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 内部システムエラーが発生しました。 ■ NTP サーバーへの接続を確立できません。 ■ Web サーバーへの接続は確立されません。 	NTP サーバーと Web サーバーが接続済みであることを確認してください。問題が解決しない場合は、DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
NTP サーバーの設定を保存できません。指定した NTP サーバーが存在するか確認してください。	このエラーは、NTP サーバーの IP の詳細が正しくないか、NTP サーバーが実在しない場合に表示されます。	NTP サーバーの IP アドレスが有効であることを確認してください。また、NTP サーバーがアプライアンスに接続済みであることを確認してください。

表 5-15 では[設定 (Settings)]>[認証 (Authentication)]タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-15 [設定 (Settings)]>[認証 (Authentication)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
<p>現在の LDAP 構成を無効化できませんでした。</p> <p>現在の LDAP 構成を有効化できませんでした。</p>	<p>構成済みの LDAP サーバーは無効にすることができません。このエラーは、LDAP サーバーが応答可能でない場合に発生することがあります。</p> <p>Web サーバーへの接続は確立されません。</p>	<p>DataCollect コマンドを使用してログを収集し、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。</p>
<p>現在の LDAP 構成を構成解除できませんでした。</p>	<p>設定された LDAP サーバーは構成解除することができません。</p>	<p>エラーを解決する次の操作のいずれかを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ LDAP サーバーが応答可能であることを確認してください。 ■ LDAP サーバーを構成解除するための正当な認可を得ていることを確認してください。 ■ NetBackup Appliance Shell Menuを使用して LDAP サーバーへの接続を確認してください。
<p>LDAP の構成中にエラーが発生しました。</p>	<p>このエラーは次の原因で表示される場合もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 提供された LDAP サーバーの詳細が正しくありません。 ■ LDAP サーバーが応答しません。 	<p>LDAP サーバーの構成詳細が正しいか確認してください。</p>
<p>サーバー名を設定中にエラーが発生しました。</p>	<p>提供された LDAP サーバー名を設定できません。</p>	<p>LDAP サーバーの入力されたサーバー名が正しいことを確認してください。</p>
<p>パスワードを設定中にエラーが発生しました。</p>	<p>LDAP サーバーにアクセスするために入力したパスワードが正しくありません。</p>	<p>LDAP サーバーを構成するための有効なパスワードを入力します。</p>
<p>共通ユーザー名を設定中にエラーが発生しました。</p>	<p>LDAP サーバーにアクセスするために入力した既存の LDAP ユーザーのユーザー名が正しくありません。</p>	<p>LDAP サーバーを構成するための有効なユーザー名を入力します。</p>
<p>共通グループ名を設定中にエラーが発生しました。</p>	<p>LDAP サーバーにアクセスするために入力した既存の LDAP グループのグループ名が正しくありません。</p>	<p>LDAP サーバーを構成するための有効なグループ名を入力します。</p>

エラーメッセージ	説明	推奨処置
SSLを設定中にエラーが発生しました。	このエラーは次の原因で表示される場合もあります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ SSL 証明書が破損していません。 ■ SSL 証明書へのパスが正しくありません。 ■ SSL 証明書が古い証明書です。 	エラーを解決する次の操作のいずれかを使用してください。 <ul style="list-style-type: none"> ■ SSL 証明書が破損していないことを確認してください。 ■ SSL 証明書へのパスが正しいか確認してください。 ■ SSL 証明書が最新であることを確認してください。
LDAP 構成の設定のエクスポートでエラーが発生しました。(Error in exporting the LDAP configuration settings.)	このエラーは次の原因で表示される場合もあります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 生成された XML ファイルの保存先のパスが正しくありません。 ■ XML ファイルを生成できませんでした。 	ページを更新し、それでも問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ユーザーを保存中にエラーが発生しました。	アプライアンスは新たに追加されたユーザーを保存することができません。	タスクを実行する適切な権限があることを確認してください。ページを更新し、再試行してください。問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
グループを保存中にエラーが発生しました。	アプライアンスは新たに追加されたユーザーグループを保存することができません。	タスクを実行する適切な権限があることを確認してください。ページを更新し、再試行してください。問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
認可中にエラーが発生しました。	アプライアンスは選択したユーザーに管理者権限を与えることができません。	タスクを実行する適切な権限があることを確認してください。ページを更新し、再試行してください。問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ユーザーを削除中にエラーが発生しました。	アプライアンスが追加されたユーザーを削除することができません。	タスクを実行する適切な権限があることを確認してください。ページを更新し、再試行してください。問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ユーザーグループを削除中にエラーが発生しました。(Error in deleting user group.)	アプライアンスが追加されたユーザーグループを削除することができません。	タスクを実行する適切な権限があることを確認してください。ページを更新し、再試行してください。問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
認識されないまたは無効なユーザーのためログインに失敗しました。(Login failure due to an unrecognized or invalid user)	ユーザーが LDAP ディレクトリから削除され (かつ、アプライアンスログイン許可リストから削除されていない) ているが、ユーザーが LDAP 認可ユーザーとしてリストに登録されている場合、ユーザーはログインできません。したがって、これらのユーザーはセキュリティ上の脅威とはなりません。	この場合、アプライアンスを使用するよう設定されている LDAP ユーザーは、LDAP ディレクトリから削除し、最初にアプライアンスから削除する必要があります。そうしないと、アプライアンスのユーザーリストからそのユーザーを削除できません。
サーバーの構成は成功しませんでした。エラーメッセージを表示して詳細を確認します。	このエラーは、複数の原因により表示されます。完全なエラーメッセージを表示して解決策を確認してください。	ページを更新し、それでも問題が解決しない場合は、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。


表 5-16 では [設定 (Settings)] > [パスワード (Password)] タブに表示されるすべてのエラーメッセージをリストします。

表 5-16 [設定 (Settings)] > [パスワード (Password)]

エラーメッセージ	説明	推奨処置
供給されたパスワードでは、必要なパターンを満足することができません。	新しいパスワードにすべての必須パラメータが含まれていません。	新しいパスワードを入力してください。 7 文字から成るパスワードは、必ず次の必要条件をすべて満たす必要があります、それより長いパスワードの場合は、これらのうち少なくとも 3 つを満たしている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 つの大文字 ■ 1 つの小文字 ■ 1 つの数字 (0 から 9) ■ 1 つの特殊文字 (@#\$\$%^&*(){}[]) パスワードは大文字で始めても、数字で終わってもかまいません。ただし、これらの文字をその位置に指定すると、パスワードが最小必要条件を満たしているとは見なされません。

表 5-17 では NetBackup Appliance Web Console のすべてのタブに共通のエラーメッセージをリストします。

表 5-17 NetBackup Appliance Web Consoleに表示される共通のエラーメッセージ

エラー	説明	推奨処置
不明なエラーが発生しました。ベリタスサポートに連絡して、この問題を解決してください。引き続き他の操作を行うには、該当するタブをクリックします。	これは一般エラーで、Web サーバーが応答しない場合に表示されることがあります。	Web サーバーを再起動し、再試行してください。
	このアイコンは更新情報が表示されていないフィールドの横に表示されます。これは、入力した値が NetBackup Appliance Directory の更新が取得されなかったときに発生します。データストアと一致しない新しい値です。	適切な値を入力し、再度保存してください。NetBackup Appliance Directory に接続されていることを確認してください。

p.60 の「[NetBackup Appliance に適用可能な NetBackup の状態コード](#)」を参照してください。

p.51 の「[NetBackup Appliance Shell Menu](#)に表示されるエラーメッセージ」を参照してください。

p.31 の「[初期構成時に表示されるエラーメッセージ](#)」を参照してください。

NetBackup Appliance Shell Menuに表示されるエラーメッセージ

表 5-18 に、NetBackup Appliance Shell Menuを使用した作業時に表示される可能性のある、一般的なエラーメッセージのいくつかを示します。

表 5-18 NetBackup Appliance Shell Menuの一般的なエラーメッセージ

エラーメッセージ	説明/推奨処置
このアプライアンスへのアクセスがマスターサーバーに拒否される	アプライアンスのホスト名がマスターサーバーにとって既知のサーバーリストに追加されているか確認します。NetBackup 管理コンソールを使って、マスターサーバーにとって既知のサーバーのリストにアプライアンスを追加することができます。 注意事項については『NetBackup 管理者ガイド』を参照してください。
マスターサーバーに接続できない	マスターサーバー上で NetBackup サービスが実行中であることを確かめます。また、マスターサーバーのサービスへのアクセスがファイアウォールで遮断されていないことも確認します。 ファイアウォールを介してアクセスする方法については、『NetBackup 管理者ガイド』を参照してください。

エラーメッセージ	説明/推奨処置
NetBackup バージョンを取得できない	アプライアンス上で NetBackup サービスが実行中であることを確かめます。この問題が発生したら、NetBackup サービスを再起動します。
マスターサーバーのバージョンがメディアサーバーのバージョンより古くなっています。	マスターサーバーが標準の非アプライアンスマスターサーバーの場合、マスターサーバーの NetBackup ソフトウェアをメディアサーバーの現在のバージョン以上にアップグレードしてください。 アプライアンスのアプライアンスバージョンにメディアサーバーの NetBackup リリース以上の NetBackup リリースが含まれる場合は、マスターサーバーをアップグレードしてください。
ディスクストレージへのアクセスに失敗した	この問題は複数の問題が原因で発生する場合があります。たとえば、ディスクがオフラインの場合やディスクボリュームが無効の場合です。これらのシナリオでは、 <ul style="list-style-type: none"> ■ DataCollect ログを収集します ■ 実際のディスクグループおよびボリューム関連のエラーが発生していないか、/log/app_vxul/409-9-* .log を調べます。
ボリュームのサイズを調整できない	まず最初に、必要なパーティションサイズまたは割合の値を変更してみます。次に、元々使われていた形式とは異なる形式で値を入力します。たとえば、絶対サイズを入力してアプライアンスのホストを再起動します。 /var/log/sf.log を開き、ボリューム (VxVM) に関するエラーメッセージを調べます。
AdvancedDisk のストレージでライセンスチェックに失敗する	NetBackup Flexible Disk Option を使うための有効なライセンスがメディアサーバーにインストールされているか確認します。
重複排除ストレージのライセンスチェックが失敗する	NetBackup 重複排除オプションを使うための有効なライセンスがメディアサーバーにインストールされているか確認します。
重複排除ストレージユニットを作成できない	ストレージユニットまたは対応するディスクボリュームがすでにメディアサーバーに存在しているか調べてください。存在する場合は、ストレージユニットまたは対応するディスクボリュームが現在使用されているかどうかを確認してください。ストレージが重複している場合にのみ、NetBackup 管理コンソールまたは nbdecommission ユーティリティを使用してそれらを削除してください。 これらのツールは、NetBackup マスターサーバーで利用できます。エラー情報については詳しくは、Support > Logs > VxLogView Module ALL コマンドを使用して NetBackup Appliance VxUL (統合) ログを確認してください。

表 5-19 には、Manage > Software ビューのコマンドに特定のエラーメッセージが表示されます。

表 5-19 [管理 (Manage)] > [ソフトウェア (Software)]ビュー

エラーメッセージ	説明	推奨処置
<RPM name> の更新構成を読み込めませんでした。	rpm パッチにエラーがあります。	ベリタスのサポートに連絡して支援を依頼してください。
NetBackup Appliance バージョンはすでに <version number> です。	現在のアプライアンスバージョンはパッチのバージョンと同じです。アプライアンスがパッチのインストールを停止しました。	このパッチがインストールされているかどうか調べてください。インストール済みの場合は、アプライアンスにインストールする正しいパッチを特定してください。
ソフトウェアの更新をインストールできません。ソフトウェアの更新バージョンは <version number> であり、アプライアンスバージョンは <version number> です。	アプライアンスにインストールされている現在のバージョンは、インストールしようとしているパッチよりも高いバージョンです。	正しいパッチを特定し、アプライアンスにインストールしてください。
パッチがないか、またはダウンロード済みのパッチを調べる List downloaded コマンドを実行しなかったため、インストールは失敗しました。	ダウンロードしようとしているパッチが存在しない、または最新ではないため、インストールは失敗しました。	正しいパッチを特定し、アプライアンスにインストールしてください。List downloaded コマンドを実行し、ダウンロード済みのパッチを調べ、正しいパッチをインストールしてください。
アップグレードプロセスはこのアプライアンスですすでに動作しています。	アップグレードロックを取得できません。つまり、別のアップグレードがアプライアンスで動作しています。	アップグレードプロセスの別のインスタンスがアプライアンスで動作していないか調べてください。
不明なエラーです。ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。	エラーの発生元が見つかりません。	ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。
ソフトウェアの更新 <rpm> は計算ノード <node name> にすでにインストールされています。	rpm (のインストーラパッケージ) がアプライアンスにすでにインストールされています。	インストールしようとしている rpm がアプライアンスにすでにインストールされているかどうかを調べてください。
そのソフトウェアの更新 <rpm> がインストールされているかどうかを確認できません	インストールしようとしている rpm (のインストーラパッケージ) がアプライアンスに存在しているかどうかを調べることができません。	システムエラーがないか調べてください。
マスター <master server name> で NetBackup バージョンを取得できません。	マスターサーバーでバージョン情報を取得できませんでした。	ネットワークの問題がないか、マスターサーバーが予期せずオフになっていないかを調べてください。
マスター <master server name> の NetBackup のバージョンは、<version number> です。また、<version number> する必要があります。	マスターのバージョン番号がパッチの必要条件に適合しません。	NBU バージョンがマスターサーバーにインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合、それはインストールするべき適切なパッチではありません。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
無効なアプライアンスモード。	bp.conf ファイルのアプライアンスモードが正しくありません。	bp.conf のアプライアンスモードを調べ、ベリタスのサポートに連絡してください。
有効な EEB 名を指定してください。	このエラーメッセージは EEB のロールバック用としてのみ表示されます。EEB 名が無効です。	使用済みの EEB 名を調べてください。
パッチ <rpm name> の署名チェックが終了しました。	rpm (のインストーラパッケージ) に署名エラーが見つかりました。	rpm (のインストーラパッケージ) の md5 の数が正しいかどうかを調べてください。rpm を再度ダウンロードすることをお勧めします。
NetBackup ジョブは現在実行中です。NetBackup のすべてのジョブを停止し、次にアップグレードをもう一度試してください。	アップグレード時には、NetBackup のすべてのジョブを停止する必要があります。	アプライアンスソフトウェアをアップグレードする前に、NetBackup ジョブを停止してください。
バックアップジョブの概略情報を収集できません。これはいくつかのプロセスが動作していないことと、アプライアンスを再起動する必要があることを示す場合があります。	アップグレードプロセスでは、アクティブな NetBackup ジョブがあるかどうか調べられます。アクティブなジョブが検出されない場合のみ、アップグレードプロセスが進行します。バックアップジョブの概略に準拠できない場合は、動作していないプロセスがあるということです。	NetBackup サービスが正しく動作しているかどうかを調べてください。
ソフトウェアのアップグレードプロセスが失敗しました。アプライアンスは、アップグレード前のチェックポイントを使用してアップグレード前の状態にロールバックしています。	ソフトウェアのアップグレードプロセスは失敗し、アプライアンスはアップグレード前の状態に自動でロールバックします。	ロールバックが完了するまでお待ちください。
アップグレード前のチェックポイントの作成に失敗しました。この問題を最初に解決してください。	予期しないエラーが原因で、アップグレード前のチェックポイントを作成できません。	ベリタスのサポートに連絡して、チェックポイントログを確認してください。
セルフテストが失敗しました。この問題を最初に解決してください。	セルフテストは、予期しないエラーが原因で失敗しました。	Support > Test software コマンドを実行して、詳細なエラーメッセージを参照してください。

表 5-20 には、Manage > Appliance Restore ビューのコマンドに特定のエラーメッセージが表示されます。

表 5-20 [管理 (Manage)] > [アプライアンスのリストア (Appliance Restore)]
 ビュー

エラーメッセージ	説明	推奨処置
アプライアンスのチェックポイントの作成に失敗しました。エラーが解決されたら再試行してください。	このエラーはディスク領域が不足している場合に発生する可能性があります。	エラーメッセージの上にリスト表示されている追加情報を見つけてください。操作を再試行してください。このようなエラーの場合にはクリーンアップを実行します。これにより、領域が解放される場合があります。
ロールバックの検証に失敗しました。アプライアンスのチェックポイントへのロールバックを続行できません。上記のエラーを訂正し、再試行してください。	安全なネットワーク通信に問題があります。	エラーメッセージの上にリスト表示されている追加情報を見つけてください。エラーを訂正し、操作を再試行してください。
アプライアンスのチェックポイント <checkpoint_name> へのロールバックに失敗しました。提案されたシステムの再ブートを続行してください。アプライアンスのチェックポイントへのロールバック時のエラーは、アプライアンスを再ブートすることによって解決できる場合があります。	システムリソースがビジー状態である可能性があります。	アプライアンスを再起動し、ロールバック操作を再試行してください。
出荷時設定へのリセットの検証に失敗しました。続行できません。上記のエラーを修正し、再試行してください。	安全なネットワーク通信に問題があります。	エラーメッセージの上にリスト表示されている追加情報を見つけてください。エラーを訂正し、操作を再試行してください。
アプライアンスの出荷時設定へのリセットに失敗しました。提案されたシステムの再ブートを続行してください。リセットのエラーは、アプライアンスを再ブートすることによって解決できる場合があります。	システムリソースがビジー状態である可能性があります。	アプライアンスを再起動し、出荷時設定へのリセットを再試行してください。

表 5-21 には、Main_Menu > Network ビューのコマンドに特定のエラーメッセージが表示されます。

表 5-21 [Main_Menu (Main_Menu)] > [ネットワーク (Network)]ビュー

エラーメッセージ	説明	推奨処置
VLAN <vlan_id> の作成に失敗しました。イーサネットデバイス {interface} は存在しません。	このエラーは、入力が無効なインターフェースを入力すると発生します。	<vlan_id> に有効な数値識別子を指定してください。

エラーメッセージ	説明	推奨処置
<p>VLAN <vlan_id> の作成に失敗しました。インターフェース <eth> には IP アドレス 10.10.10.10 が構成されています。構成されたインターフェース上に VLAN デバイスを作成することはできません。VLAN デバイスを追加する前にこの IP の構成を解除してください。</p>	<p>このエラーは、IP アドレスが構成されているインターフェース上で VLAN にタグを付けしようとした場合に発生します。</p>	<p>別のインターフェースに構成されていない IP アドレスを入力してください。また、指定されたインターフェースの既存の IP アドレスの構成を解除して、VLAN にタグ付けすることもできます。</p>
<p>VLAN <vlan_id> の作成に失敗しました。インターフェース <eth> はケーブル接続されていません。</p>	<p>このエラーは、接続されていないインターフェース上で VLAN にタグ付けしようとした場合に発生します。</p>	<p>VLAN のタグ付け用に選択したインターフェースが接続されていることを確認してください。</p>
<p>VLAN <vlan_id> の作成に失敗しました。インターフェース <eth> は <bond> を結合するためのスレーブです。結合されたインターフェース上に VLAN を作成することはできません。</p>	<p>このエラーは、結合されたインターフェース上で VLAN にタグ付けしようとした場合に発生します。</p>	<p>VLAN タグ付け用に選択したインターフェースが結合の一部になっていないことを確認してください。</p>
<p>インターフェース {interface} が存在しません。</p>	<p>このエラーは、LinkAggregation コマンドを使って結合を形成する場合に、無効なインターフェース名を入力すると発生します。</p>	<p>結合を形成する際には有効なインターフェース名を入力してください。</p>
<p>指定されたインターフェース <interface(s)> がいずれもケーブル接続されていません。少なくとも 1 つのインターフェースがケーブル接続されていることを確認してください。</p>	<p>このエラーは、結合の形成に関係するインターフェースがいずれも接続されていない場合に発生します。</p>	<p>結合の形成に関係するインターフェースのうちの少なくとも 1 つが接続されていることを確認してください。</p>
<p>単一インターフェースに対して結合を有効にできません。結合を有効にするには、複数のインターフェースの詳細を指定してください。</p>	<p>このエラーは、結合を形成する際に単一インターフェースの情報を指定した場合に表示されます。</p>	<p>結合を形成するには、複数のインターフェースの詳細を指定してください。</p>
<p>インターフェース <interface(s)> は形式および速度が異なります。</p>	<p>このエラーは、ポート速度が異なるインターフェースを使って結合を形成しようとした場合に発生します。</p>	<p>結合を形成するために成用を選択したインターフェースのポート速度が同じであることを確認してください。</p>
<p>インターフェース <interface> は結合の一部です。</p>	<p>このエラーは、すでに別の結合の一部となっているインターフェースの詳細を指定した場合に発生します。</p>	<p>この操作に選択したインターフェースが、結合の一部になっていないことを確認してください。</p>
<p>重複インターフェース <eth> に対して結合を有効にできません。結合を有効にするには、別のインターフェースの詳細を指定してください。</p>	<p>このエラーは、結合の形成中に重複するインターフェース名を入力した場合に発生します。たとえば、<eth3>、<eth4>、<eth4> などです。</p>	<p>結合の形成中に重複するインターフェース名を入力しないでください。</p>

エラーメッセージ	説明	推奨処置
インターフェース <bond> は結合されたインターフェースです。結合されたインターフェースは使用できません。	このエラーは、すでに別の結合の一部となっているインターフェースを使って結合を作成しようとした場合に発生します。	結合の形成用に選択したインターフェースが既存結合の一部になっていないことを確認してください。
結合内のインターフェース <eth> は使えません。インターフェースは VLAN <vlan_id> で使用中です。	このエラーは、VLAN がタグ付けされているインターフェースを使って結合を形成しようとした場合に発生します。	VLAN がタグ付けされていないインターフェースの詳細を入力してください。
複数のインターフェース (eth4:10.10.10.10 eth5:10.10.10.11) が構成されています。インターフェースを削除するには、[メイン (Main)] > [ネットワーク (Network)] > [構成解除 (Unconfigure)] を使います。	このエラーは、IP アドレスが構成されていないインターフェースを使って結合を形成しようとした場合に発生します。	インターフェース間の結合を形成する場合は、IP アドレスを複数のインターフェースに構成しないでください。

表 5-22 には、Main_menu > Network > WANOptimization ビューのコマンドに特定のエラーメッセージが表示されます。

表 5-22 Main_Menu > Network > WANOptimization ビュー

エラーコードとエラーメッセージ	説明	推奨処置
<V-409-925-11> 無効な結果が返されました。(Invalid result returned.)	予期しないエラーのために、またはサービスが停止している可能性があるために WAN の最適化の状態を取得できません。	NetBackup Appliance Shell Menu を起動して、Web サービスを再起動します。それから次のコマンドを実行してください。 Support > InfraServices > Start WebServer 問題が継続する場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
<V-409-925-12> ネットワークインターフェースの最適化がネットワークポート {{port}} に対して有効になりません。(Network interface optimization cannot be enabled for network port {{port}}.)	個別のネットワークインターフェースはネットワークインターフェースポートの結合の一部です。結合を構成する個別のネットワークインターフェースを有効にすることはできません。	結合の一部である個別のネットワークインターフェースに対して WAN の最適化を有効にするには、最初に結合を削除する必要があります。終了を削除した後、選択したネットワークインターフェースに対して WAN の最適化を有効にすることができます。 メモ: 結合を削除すると、結合を構成するすべてのネットワークインターフェースに対して、自動的に WAN の最適化が無効になります。

エラーコードとエラーメッセージ	説明	推奨処置
<V-409-925-13> ネットワークインターフェースの最適化がネットワークポート {{port}} に対して無効になりません。(Network interface optimization cannot be disabled for network port {{port}}.)	個別のネットワークインターフェースはネットワークインターフェースポートの結合の一部です。結合を構成する個別のネットワークインターフェースを無効にすることはできません。	結合の一部である個別のネットワークインターフェースに対して WAN 最適化を無効にするには、結合を削除する必要があります。結合を削除すると、結合を構成していたすべてのネットワークインターフェースに対して、自動的に WAN の最適化が無効になります。
<V-409-925-14> WAN の最適化がネットワークポート {{port}} に対して無効になりません。(Cannot disable WAN Optimization for network port {{port}}.)	指定したネットワークインターフェースが存在しません。	コマンドラインで入力しているパラメータから、無効にする必要があるネットワークポートの名前を削除してください。
<V-409-925-15> WAN の最適化がネットワークポート {{port}} に対して有効になりません。(Cannot enable WAN Optimization for network port {{port}}.)	指定したネットワークインターフェースが存在しません。	コマンドラインで入力しているパラメータから、有効にする必要があるネットワークポートの名前を削除してください。

表 5-23 には、Main_menu > Settings ビューのコマンドに特定のエラーメッセージが表示されます。

表 5-23 Main_menu > Settings ビュー

エラーコードとエラーメッセージ	説明	推奨処置
V-409-810-0001: アプライアンスの役割が設定されていないため、重複排除サービスを検出できません。この機能を有効にするには、Main_Menu > Appliance コマンドを使用してアプライアンスの役割を構成する必要があります。	アプライアンスの役割を設定するまでは、アプライアンスをファイバーチャネル (FC) を介した最適化複製および自動イメージレプリケーション用のターゲットホストとして構成することはできません。	アプライアンスの役割を設定します。
V-409-810-0013: 内部エラーのため重複排除サービスの有効化に失敗しました。ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	内部エラーのため、アプライアンスを FC を介した最適化複製および自動イメージレプリケーション用のターゲットホストとして構成できません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
V-409-810-0014: 内部エラーのため操作の実行に失敗しました。ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	アプライアンスは内部エラーのために操作を実行できません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
V-409-810-0015: 内部エラーのため重複排除サービスの有効化に失敗しました。ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	アプライアンスは、内部エラーのためにターゲットポート構成をロードできません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。

エラーコードとエラーメッセージ	説明	推奨処置
V-409-810-0017: 内部エラーのため操作の実行に失敗しました。ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	アプライアンスは、内部エラーのためにファイバートランスポート重複排除を無効にできません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
V-409-810-0018: 現在のアプライアンスモデルは標準ではありません。HBA カード構成を確認し、ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	<p>アプライアンスは、実際のパネル内の HBA カード構成が NetBackup Appliance 標準ハードウェア構成でないために、ファイバートランスポート重複排除を有効化できません。出荷時の HBA カード構成は、次の理由から変更される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 つ以上の HBA カードが失敗した。 ■ 1 つ以上の HBA カードがインストールまたはアンインストールされた。 	<p>問題のトラブルシューティングを行うには、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ハードウェアの健全性またはハードウェアアラートの確認 ■ 実際のパネルの HBA カードの確認 ■ ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
V-409-810-0019: 内部エラーのため操作の実行に失敗しました。ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	アプライアンスは内部エラーのために操作を実行できません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。

表 5-24 には、Main_menu > Support > FibreTransport ビューのコマンドに特定のエラーメッセージが表示されます。

表 5-24 Main_menu > Support > FibreTransport view

エラーコードとエラーメッセージ	説明	推奨処置
V-409-810-0006: アプライアンスの役割が設定されていないため、最適化された複製およびレプリケーションのチャンクサイズを構成できません。最適化された複製のチャンクサイズを構成する前に、アプライアンスの役割を設定する必要があります。	ファイバートランスポート (FT) のチャンクサイズは、アプライアンスの役割を設定するまでは構成および使用できません。	アプライアンスの役割を設定します。
V-409-810-0007: 内部エラーのため、最適化複製およびレプリケーションのチャンクサイズを設定できませんでした。ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	FT チャンクサイズは、内部エラーのために構成および使用できません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
V-409-810-0016: 内部エラーのため操作の実行に失敗しました。ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	アプライアンスは内部エラーのために操作を実行できません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。

表 5-25 には、Main_menu > Manage > FibreChannel ビューのコマンドに特定のエラーメッセージが表示されます。

表 5-25 Main_menu > Manage > FibreChannel ビュー

エラーコードとエラーメッセージ	説明	推奨処置
V-409-810-0002: 内部エラーのため重複排除サービスの再起動に失敗しました。テクニカルサポートにお問い合わせください。	内部エラーのため、アプライアンスを FC を介した最適化複製および自動イメージレプリケーション用のターゲットホストとして構成できません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
V-409-810-0011: ポート Slot:Port を FC イニシエータポートとして構成できません。このポートは %s 用に予約済みであり、変更できません。予約済みの HBA ポートについて詳しくは、『NetBackup Appliance ファイバーチャネルガイド』を参照してください。	このポートは SAN クライアント FTMS 用のターゲットモードポートとして予約済みであり、FC を介した最適化複製と自動イメージレプリケーション用のイニシエータポートとして使用することはできません。	FC を介した最適化複製と自動イメージレプリケーションのイニシエータポートとして使用可能な、別のポートを使用します。 利用可能なポートについては、『NetBackup Appliance ファイバーチャネルガイド』を参照してください。
V-409-810-0012: ポート Slot:Port が見つかりません。HBA ポート識別子が無効です。アプライアンスの HBA ポートを確認し、有効なスロット番号 (1-6) および有効なポート番号 (1-2) を入力します。	アプライアンスは、ユーザーが指定したポートを見つけられません。ユーザーが無効なスロット番号、ポート番号、またはこれら両方を入力した可能性があります。	利用可能なポートについては、『NetBackup Appliance ファイバーチャネルガイド』を参照してください。
V-409-810-0014: 内部エラーのため操作の実行に失敗しました。ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。	アプライアンスは内部エラーのために操作を実行できません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。
V-409-810-0020: 内部エラーのため操作の実行に失敗しました。テクニカルサポートにお問い合わせください。	アプライアンスは内部エラーのために操作を実行できません。	ベリタスのテクニカルサポートにお問い合わせください。

p.60 の「[NetBackup Appliance に適用可能な NetBackup の状態コード](#)」を参照してください。

p.31 の「[初期構成時に表示されるエラーメッセージ](#)」を参照してください。

NetBackup Appliance に適用可能な NetBackup の状態コード

このセクションでは、NetBackup Appliance と一緒に使用している場合に発生する可能性のある NetBackup のエラーをリストします。対応するエラーメッセージに基づいて問題を解決するのに役立ちます。

表 5-26 NetBackup の状態コード

NetBackup の状態コード	メッセージ	説明
13	ファイルの読み込みに失敗しました	ファイルまたはソケットの読み込みに失敗しました。
48	クライアントのホスト名が見つかりません	システム関数 <code>gethostbyname()</code> でクライアントのホスト名を見つけることができませんでした。
83	メディアのオープンエラー	テープマネージャ (bptm) またはディスクマネージャ (bpdm) は、バックアップまたはリストアを行う必要があるデバイスまたはファイルを開けませんでした。
84	メディアの書き込みエラー	NetBackup がリムーバブルメディアまたはディスクファイルに書き込むときに、システムのデバイスドライバが I/O エラーを返しました。
89	共有メモリの設定中に問題が発生しました	NetBackup プロセスは一部の操作で共有メモリを使います。この状態は、エラーがオペレーティングシステムの API によって共有メモリが初期化されるときに検出されると返されます。
213	利用可能なストレージユニットがありません	NetBackup Resource Broker (nbrb) で使用可能なストレージユニットが見つかりませんでした。すべてのストレージユニットが使用できないか、すべてのストレージユニットがオンデマンド用のみの設定になっています。さらに、ポリシーおよびスケジュールは特定のストレージユニットを必要としません。
242	不正な複製の原因となる可能性がある操作です	要求を処理すると、重複エントリを引き起こします (カタログや構成データベースなどで)。カタログエントリの重複は通常、NetBackup カatalogバックアップ用メディア ID の仕様の誤りが原因です。
1500	無効なストレージユニット	ストレージライフサイクルポリシーで 1 つまたは複数の宛先で指定したストレージユニットまたはストレージユニットグループが無効です。

NetBackup 状態コードについては、『**NetBackup™ 状態コードリファレンスガイド**』を参照してください。

p.60 の「**NetBackup Appliance に適用可能な NetBackup の状態コード**」を参照してください。

p.51 の「**NetBackup Appliance Shell Menu**に表示されるエラーメッセージ」を参照してください。

p.32 の「**NetBackup Appliance Web Console**に表示されるエラーメッセージ」を参照してください。

p.31 の「[初期構成時に表示されるエラーメッセージ](#)」を参照してください。